

2018年度

# 新入社員 意識調査報告書

一般社団法人 日本能率協会



---

## 2018 年度 新入社員意識調査 報告書

### 目 次 CONTENTS

---

1. 調査結果のポイント .....	1
2. 調査の目的と方法 .....	9
2.1 調査の目的.....	9
2.2 調査の対象.....	9
2.3 調査方法 .....	9
2.4 調査期間 .....	9
2.5 調査票回収状況 .....	9
2.6 調査項目 .....	10
3. 調査対象者 .....	11
4. 調査結果 .....	14
4.1 就職活動から入社するまでの意識 .....	14
(1) 就職活動に臨んだ時の気持ち.....	14
(2) 入社した会社への満足度 .....	15
(3) 会社を選ぶ決め手.....	17
4.2 仕事・働くことへの考え .....	18
(1) 仕事・働き方に対する考え .....	18
(2) 働きたい職場 .....	22
(3) 働く目的.....	26
(4) 働いている会社が社会に役立っているかの重要度.....	27
(5) 仕事をしていく上での不安 .....	28
(6) 仕事をしていく上で強化したい能力・スキル .....	29
(7) 理想的だと思う上司・先輩 .....	30
(8) やりたいこと・やりたくないこと .....	32
(9) いつごろ海外赴任をしたいか.....	33
4.3 キャリア形成や将来について.....	34
(10) 将来のキャリアのイメージの有無.....	34
(11) 将来つきたい職種・役職 .....	35
(12) 経営者・管理職になりたい理由 .....	36
(13) 経営者・管理職になりたくない理由 .....	37
(14) 将来の育児と仕事についての考え【自分自身】 .....	38
(15) 将来の育児と仕事についての考え【配偶者】 .....	39
(16) 取得したい育児休業期間 .....	40
(17) 5年後の日本のビジネス環境.....	41
(18) 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何か。 .....	42



## 1. 調査結果のポイント

### 1. 今の気持ちを漢字1文字で表すと、「新」「挑」「努」がトップ3に。5年後の日本、「新しいビジネスが次々生まれ、日本の競争力が高まると思う」人が半数近くに。危機感よりポジティブ思考の新入社員像が浮かぶ結果に。

・今の気持ちを漢字1文字で表してもらったところ、110の漢字の回答があった。1位「新」(28人)、2位「挑」(24人)、3位「努」(12人)とポジティブな気持ちを表す漢字が目立った。(問20)

問20. 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。

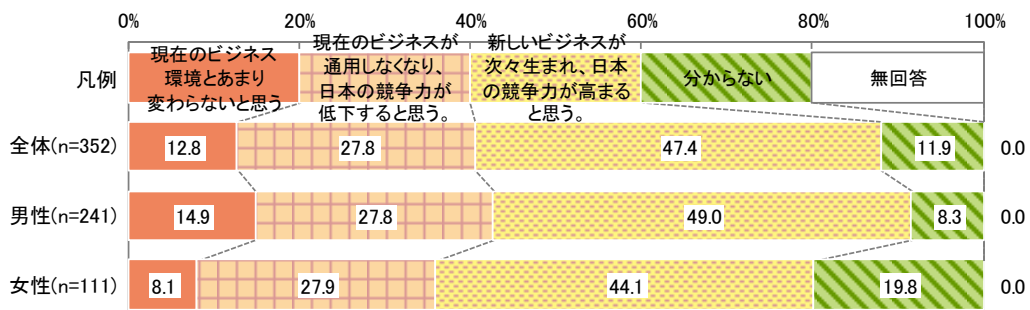
漢字1文字ご記入ください。(n=352)

※3人以上から回答があったものを抜粋

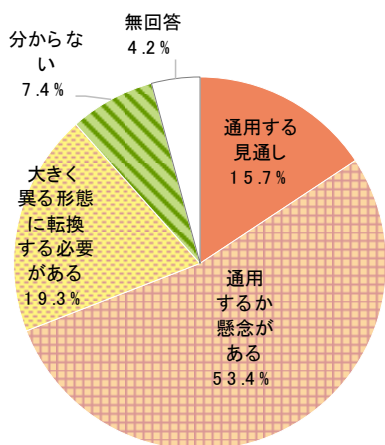
漢字	件数	漢字	件数	漢字	件数
新	28	改	7	恐	3
		気	7	魂	3
挑	24	進	7	初	3
		頑	5	心	3
努	12	戦	4	勢	3
		迷	4	無	3
楽	9	学	3	惑	3
		希	3		
変	8				

・人工知能(AI)・ロボット技術の発展による「デジタル革命」時代の到来を背景に、5年後の日本のビジネス環境がどうなっているかを聞いたところ、全体では、「新しいビジネスが次々生まれ、日本の競争力が高まると思う」が47.4%と、「現在のビジネスが通用しなくなり、日本の競争力が低下すると思う」の27.8%を20ポイント近く上回り、日本の競争力についてポジティブに捉えられていることが分かった。(問19)

問19. 近年、人工知能(AI)・ロボット技術の発展により「デジタル革命」時代が到来したと言われています。こうした中、5年後の日本のビジネス環境はどのように思いますか。(1つだけ選択)(n=352)



【参考】現在の主要事業の事業形態、  
ビジネスモデルの今後5年間  
における見通し（1つだけ選択）（n=337）



・2017年度に当協会にて経営者を対象に実施をした「第38回 当面する企業経営課題に関する調査」で、現在の主要事業の事業形態、ビジネスモデルの5年後の見通しについてたずねたところ、「適用するか懸念がある」（53.4%）「大きく異なる形態に転換する必要がある」（19.3%）と危機感をいっているという回答が多かったことに比べると、新入社員の回答は対照的な回答となっていると言える。

## 2. 実力・成果主義志向が6割超。仕事のやりがいや成長感を重視する傾向あり。

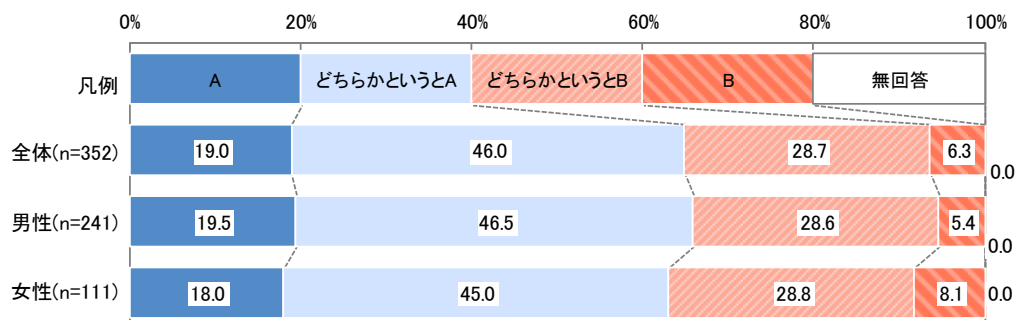
### 一方で、仕事より「プライベートを優先したい」が8割近くに。

・実力・成果主義の職場を望むか、年功主義の職場を望むか聞いたところ、「実力・成果主義」（19.0%）「どちらかという実力・成果主義」（46.0%）となり、実力・成果主義の職場を望む人が6割を超えた。（問5(1)）

問5(1). 働きたい職場について(n=352)

A) 個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場

B) 競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場



※参考 実力・成果主義か年功主義か、過去調査（2014.2012年との比較）

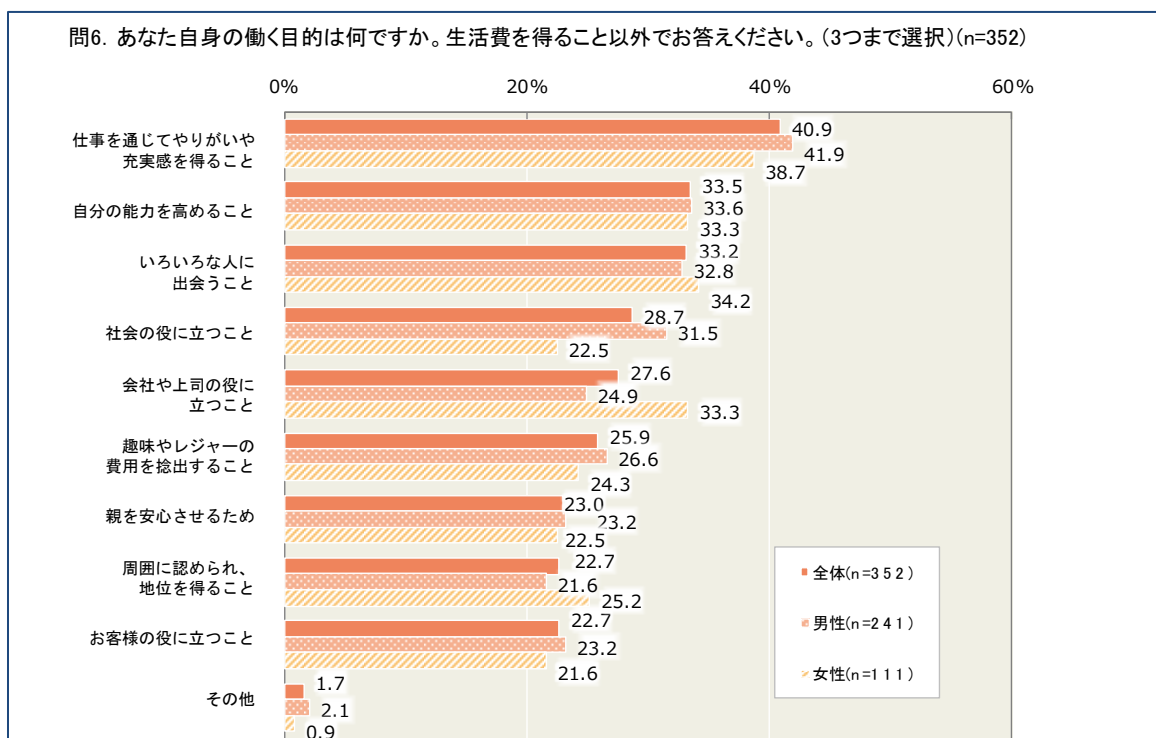
単位：%	A	B	無回答
2018年 (n=352)	65.0	35.0	0.0
2014年 (n=1039)	56.4	42.1	1.3
2012年 (n=1309)	59.7	39.0	1.3

A) 実力・成果主義の職場

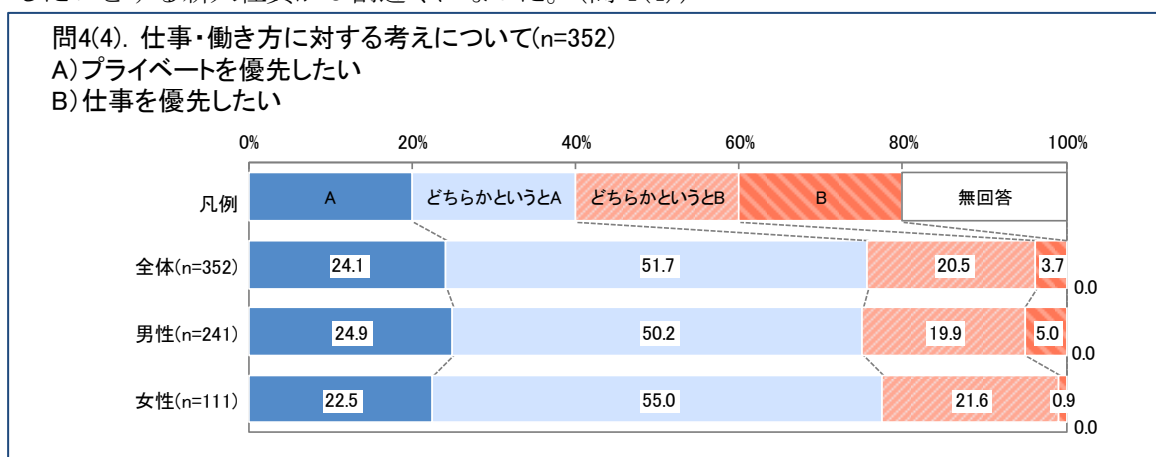
B) 年功主義の職場

過去2回の調査と比較すると、  
実力・成果主義志向は、より高まっている。

・働く目的について生活費を得ること以外で聞いたところ、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」(40.9%)が最多で、4割にのぼった。次いで「自分の能力を高めること」(33.5%)、「いろいろな人に出会うこと」(33.2%)となった。(問6)



・プライベートを優先したいか、仕事を優先したいかを聞いたところ、「プライベート」が24.1%、「どちらかというとプライベート」が51.7%となり、仕事よりプライベートを優先したいとする新入社員が8割近くになった。(問4(4))



※参考 プライベートが優先か仕事優先かについて、過去調査(2014.2012年との比較)

単位：%	A	B	無回答
2018年 (n=352)	75.8	24.2	0.0
2014年 (n=1039)	65.1	33.7	1.2
2012年 (n=1309)	61.9	37.4	0.8

A) プライベートを優先したい  
 B) 仕事を優先したい

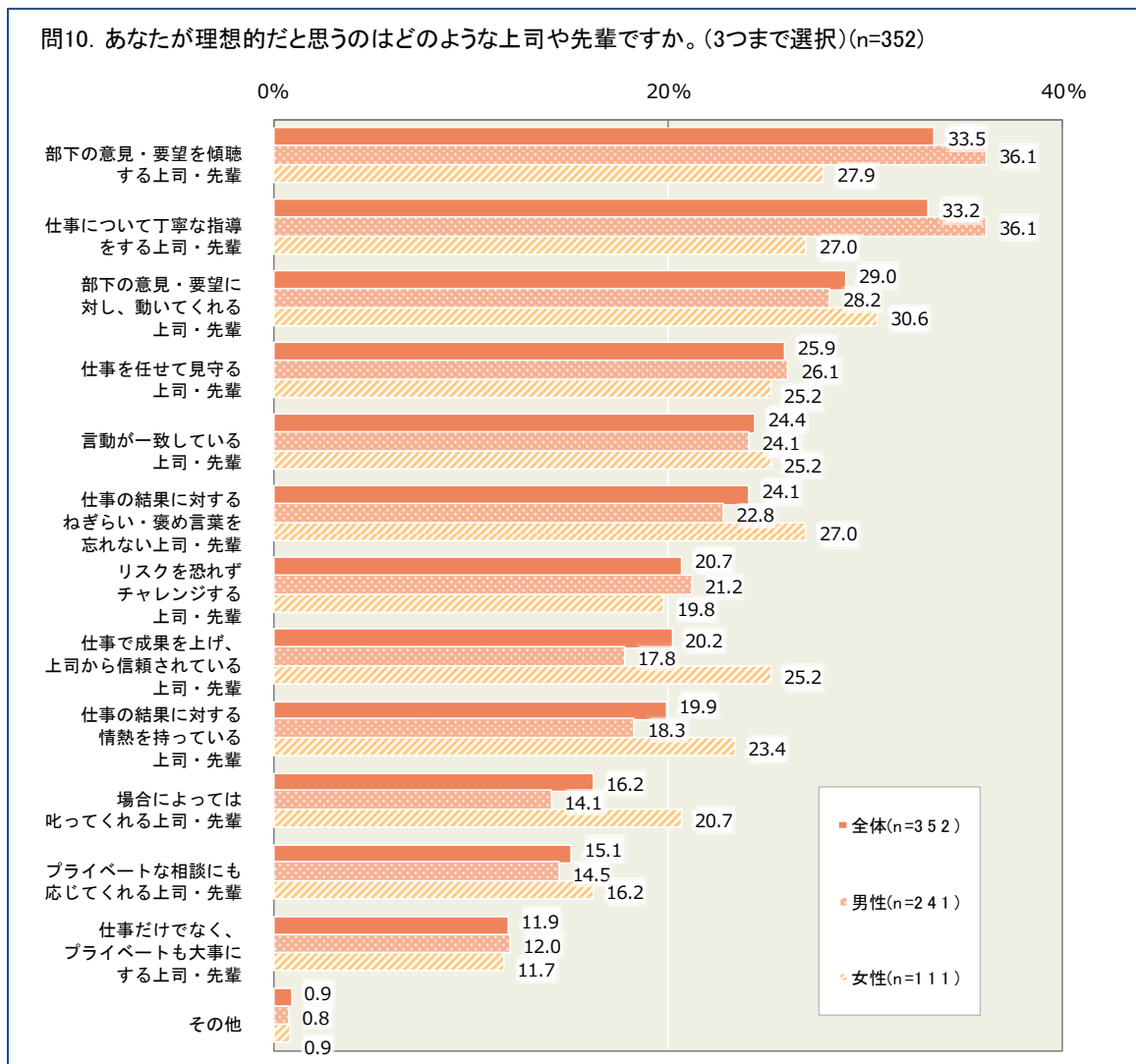
過去2回の調査と比較すると、「プライベート」を優先する志向は、より高まっている。

**3. 上司・先輩には、「傾聴」「丁寧な指導」「意見・要望に動いてくれる」など、丁寧な対応を望む。一方、仕事をしていく上での不安は、「上司・同僚との人間関係」が4割と最大に。**

・理想的だと思う上司や先輩について聞いたところ、全体では、「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」(33.5%)、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」(33.2%)、「部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩」(29.0%)がトップ3にあげられた。

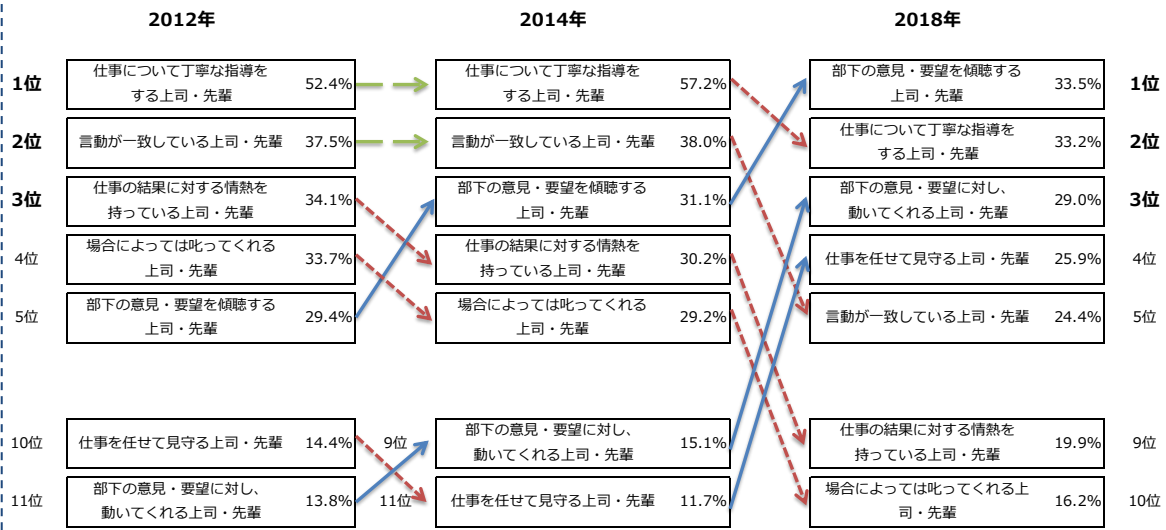
・性別でみると、男性では、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」(ともに36.1%)、「部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩」(28.2%)がトップ3になった。

・女性では、「部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩」(30.6%)、「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」(27.9%)が最多で、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」「仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」(ともに27.0%)が続いた。(問10)



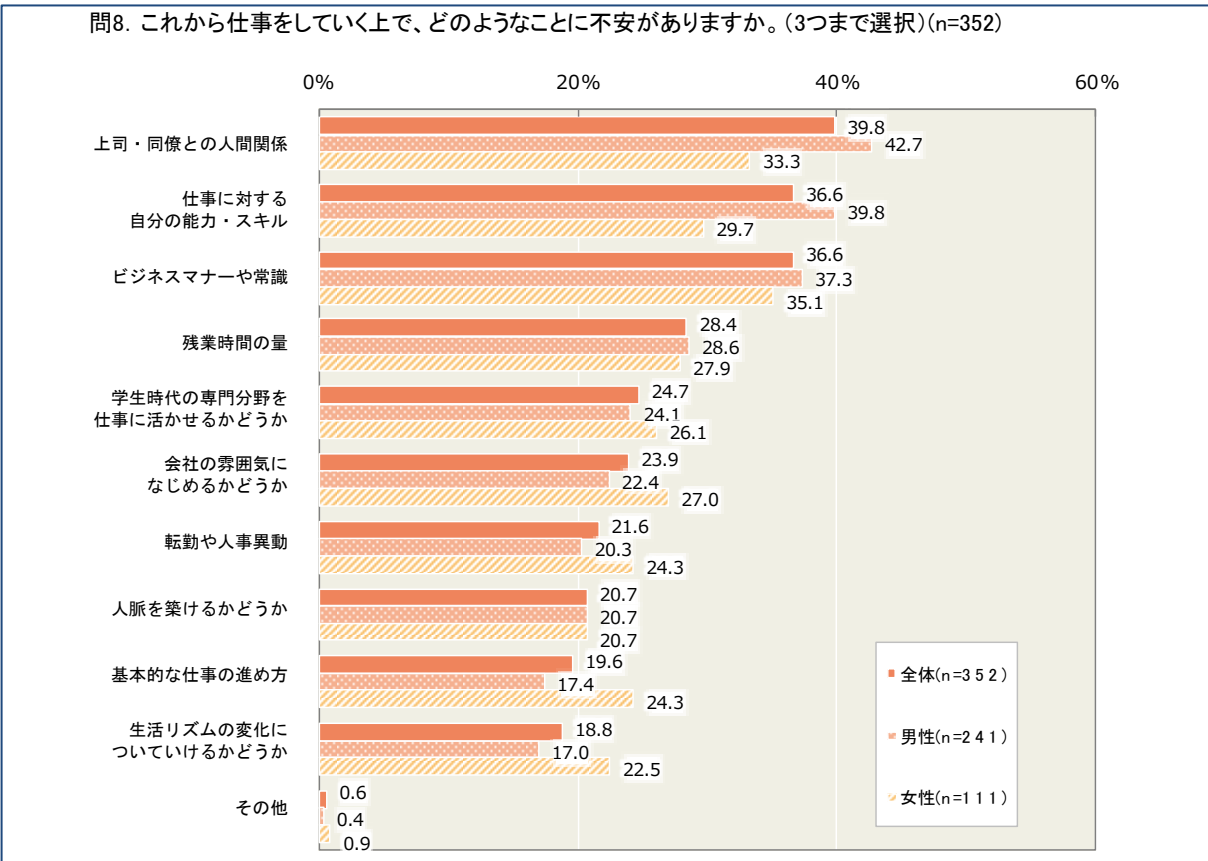


※参考 理想だと思う上司・先輩、過去調査（2014.2012年との比較）



過去2回の調査に比べ、「仕事について丁寧な指導をする」「言動が一致している」の回答割合が下がっている一方、「部下の意見・要望を傾聴する」「部下の意見・要望に対し、動いてくれる」「仕事を任せて見守る」といった回答割合が伸びている。

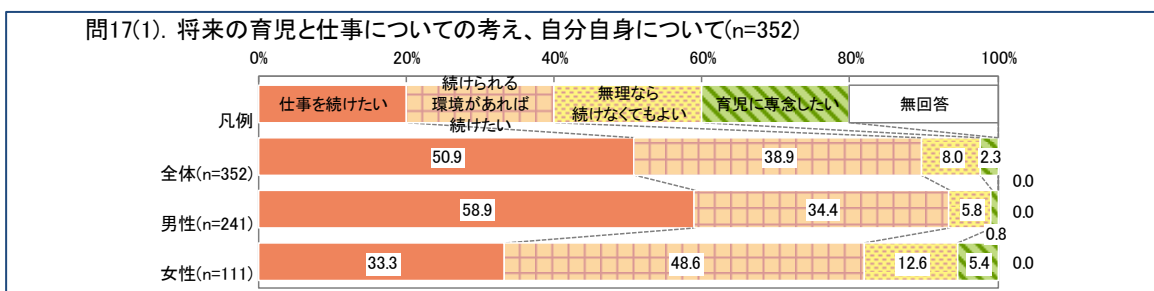
・仕事をしていく上での不安を聞いたところ、全体では、「上司・同僚との人間関係」（39.8%）が約4割にのぼった。ついで、「仕事に対する自分の能力・スキル」「ビジネスマナーや常識」（ともに36.6%）があげられた。（問8）



**4. 将来の育児と仕事について、仕事を続けたい女性は8割超、妻に仕事を続けてほしい男性は5割超に。育児休業1年以上とりたい女性は9割、うち2年以上の希望も5割以上にのぼる。**

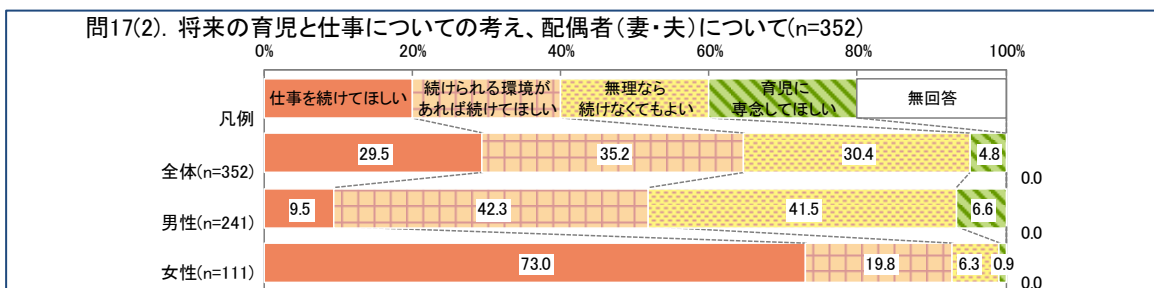
・将来の育児と仕事についての自分自身の考えについて聞いたところ、全体では、「仕事を続けたい」(50.9%)、「続けられる環境があれば続けたい」(38.9%)と、約9割が仕事を続けたいと回答している。

・性別で見ると、男性では、「仕事を続けたい」(58.9%)、「続けられる環境があれば続けたい」(34.4%)と回答、女性では、「仕事を続けたい」(33.3%)、「続けられる環境があれば続けたい」(48.6%)となり、女性の8割以上が仕事を続けたいと回答した。女性のうち、「育児に専念したい」と回答した人は5.4%にとどまった。(問17(1))



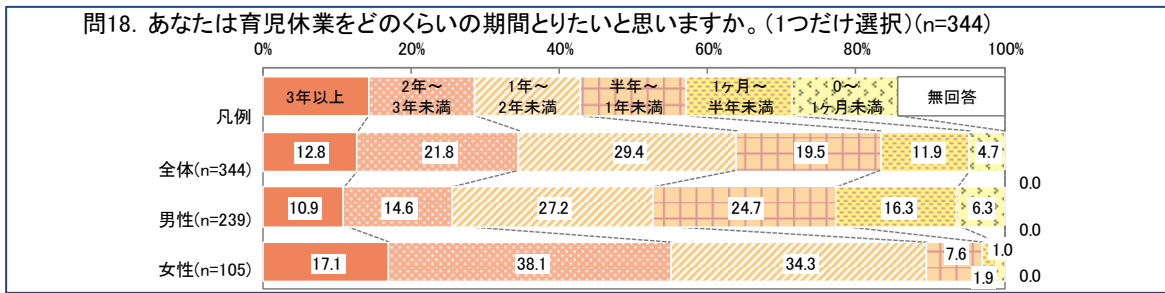
・将来の育児と仕事について、配偶者(妻・夫)に望むことを聞いたところ、男性では、「仕事を続けてほしい」(9.5%)、「続けられる環境があれば続けてほしい」(42.3%)と、続けてほしいと考える人は5割を超えた。男性では、「兼業主婦」志向が「専業主婦」志向よりやや上回る結果となった。

・女性では、「仕事を続けてほしい」(73.0%)、「続けられる環境があれば続けてほしい」(19.8%)、「無理なら続けなくてもよい」(6.3%)、「育児に専念してほしい」(0.9%)となり、9割以上の女性は夫に仕事を続けてほしいと考えている。(問17(2))



・育児休業をどのくらいの期間とりたいか(希望の時期に保育所などに預けられることが前提、会社の就業規則とは別に自身の希望を回答)を聞いたところ、全体では、「3年以上」(12.8%)、「2年～3年未満」(21.8%)、「1年～2年未満」(29.4%)、「半年～1年未満」(19.5%)、「1ヶ月～半年未満」(11.9%)、「0～1ヶ月未満」(4.7%)であった。

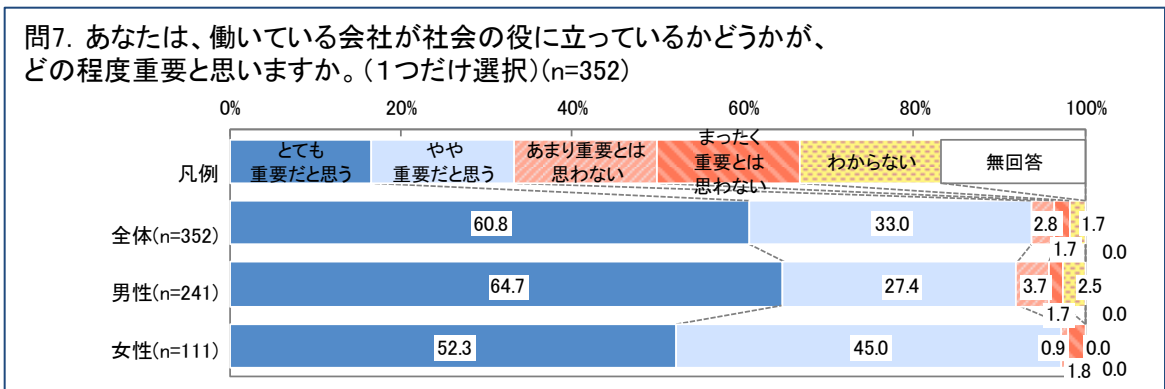
・女性では、「3年以上」(17.1%)、「2年～3年未満」(38.1%)、「1年～2年未満」(34.3%)、「半年～1年未満」(7.6%)、「1ヶ月～半年未満」(1.9%)、「0～1ヶ月未満」(1.0%)となり、育児休業を1年以上とりたい女性は9割、うち2年以上の希望も5割以上にのぼっていることが分かった。(問18)



**5. 働いている会社が社会の役に立っているかが「とても重要だと思う」6割超、「やや重要だと思う」を合わせると9割超に。企業の社会性を強く意識する傾向がみられる。**

・働いている会社が社会の役に立っているかどうかをどの程度重要と思うか聞いたところ、全体では、「とても重要だと思う」(60.8%)と、6割以上の新入社員が社会に役に立っているかをとても重要だと考えていることが分かった。「やや重要だと思う」をあわせると9割以上にのぼっている。(図表 11)

・性別でみると、「とても重要だと思う」に関しては、男性が女性より12.4ポイント高くなっており、男性がより強く社会性を意識していることが推察される。(問7)



## ＜調査結果を受けてのコメント＞

一般社団法人日本能率協会  
KAIKA 研究所 所長 近田高志

今回の調査結果からは、仕事のやりがいを重視し、成果・実力主義を志向して、自分の能力を高め成長していきたいと望んでいる新入社員の前向きな姿勢が浮かびあがりました。

また、ESG 投資やSDGsなどが広まり、企業の社会性がより重視されるようになっている昨今、働いている会社が社会の役に立っているかどうかを「とても重要だと思う」と答えた新入社員が6割に達していることは、注目に値することです。

さらに、大きな変化の中で先行きの不透明感が漂う産業界にとって、5年後の日本の競争力が高まると思うと考えている新入社員が多数を占めていることも、頼もしいことと受け止めてよいのではないのでしょうか。

たしかに、「プライベートを優先したい」という比率が、前回2014年度調査よりも高まって、8割近くにのぼっていることは、これまでの価値観からすると、「いかななものか」という印象を与えるかもしれません。しかし、「働き方改革」に取り組んでいる企業にとっては、新たな視点をもたらすと捉えることもできます。むしろ、企業として、そのような働く人の価値観の変化に対応していかなければ、今後、人材を獲得していくことが一層難しくなるとも考えられます。

また、理想的だと思う上司・先輩像にも変化が見られました。「仕事について丁寧な指導をする」「場合によっては叱ってくれる」の比率が下がった一方で、「仕事を任せて見守る」「部下の意見・要望に対し、動いてくれる」「リスクを恐れずチャレンジする」ような上司・先輩への期待が高まっています。

一方で、新たに社会に船出した新入社員にとって、「上司・同僚との人間関係」が最大の不安要素となっています。SNSによるコミュニケーションが得意な新入社員に対して、上司・先輩には、『対話』を通じて信頼関係をつくっていくことが不可欠となります。

今の気持ちを表す漢字に現れている通り、『新』たなことに『挑』戦するべく、『努』力したい」と考えている新入社員のポテンシャルが、企業や社会の中で、大きく『KAIKA (開花)』するよう、応援していきたいものです。

## 2. 調査の目的と方法

### 2.1 調査の目的

「新入社員が会社や社会に対してどのような意識や価値観を持っているか」を分析し、今後の新入社員育成に役立てることを目的とする。

なお、本調査は1982年度から継続して実施しており、今回は2014年度調査から4年ぶりに実施した。なお共通の質問項目については時系列比較を行っている。

### 2.2 調査の対象

日本能率協会が実施している新入社員向け公開教育セミナーの参加者

### 2.3 調査方法

インターネット調査

### 2.4 調査期間

2018年3月29日～4月6日

### 2.5 調査票回収状況

図表 調査票回収状況

	2018年度	
男性	241人	68.5%
女性	111人	31.5%
無回答	0人	0.0%
合計	352人	100.0%

#### 【参考】

	2014年度		2013年度		2012年度	
男性	862人	65.1%	627人	62.6%	921人	70.4%
女性	460人	34.7%	370人	36.9%	383人	29.3%
無回答	3人	0.2%	5人	0.5%	5人	0.4%
合計	1,325人	100.0%	1,002人	100.0%	1,309人	100.0%

## 2.6 調査項目

調査項目は次のとおりである。なお、時系列比較を行っている調査項目は末尾に※印を付した。

### I 就職活動から入社するまでの意識

- Q1.あなたはどのような気持ちで就職活動に臨みましたか。(※)  
Q2.あなたは、入社した会社に満足していますか。(※)  
Q3.あなたが就職先として今の会社を選ぶ決め手になったことは何ですか。(MA)

### II 仕事・働くことへの考え

- Q4.あなたの仕事・働き方に対する考え (※)  
Q5.あなたが働きたい職場 (※)  
Q6.あなた自身の働く目的は何ですか。生活費を得ること以外でお答えください。(MA)  
Q7.あなたは、働いている会社が社会の役に立っているかどうか、どの程度重要と思いますか。  
Q8.これから仕事をしていく上で、どのようなことに不安がありますか。(MA)  
Q9.これから仕事をしていく上で、強化したいと思う能力・スキルは何ですか。(MA)  
Q10.あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(MA) (※)  
Q11.あなたがこれから働くにあたって、やりたいこと・やりたくないことは何ですか。(※)  
Q12.あなたは、いつ頃海外赴任したいですか。

### III キャリア形成や将来について

- Q13.あなたは現時点において、将来のキャリアのイメージを描いていますか。  
Q14.あなたは将来どのような職種・役職につきたいと思いますか。  
Q15.経営者・管理職になりたい理由は何ですか。(MA)  
Q16.経営者・管理職になりたくない理由は何ですか。(MA)  
Q17.あなたは将来の育児と仕事について、どのように考えていますか。自身と配偶者(妻・夫)についてそれぞれお答えください。  
Q18.あなたは育児休業をどのくらいの期間とりたいと思いますか。  
Q19.近年、人工知能(AI)・ロボット技術の発展により「デジタル革命」時代が到来したと言われてしています。こうした中、5年後の日本のビジネス環境はどのようなか。  
Q20.新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。  
漢字1文字ご記入ください。(FA)

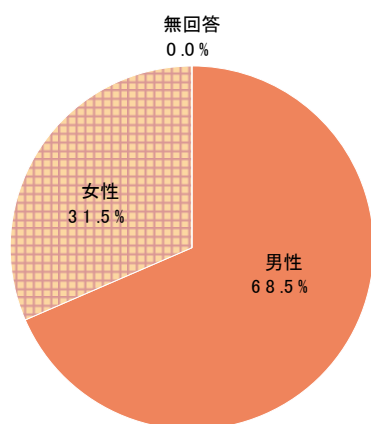
◎MA：複数回答のことを示す

◎FA：自由回答のことを示す

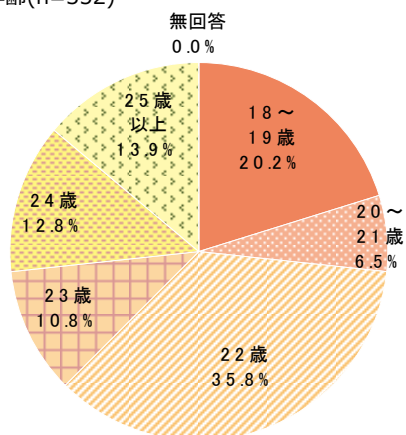
### 3. 調査対象者

※小数点第2位を四捨五入

F1. 性別(n=352)



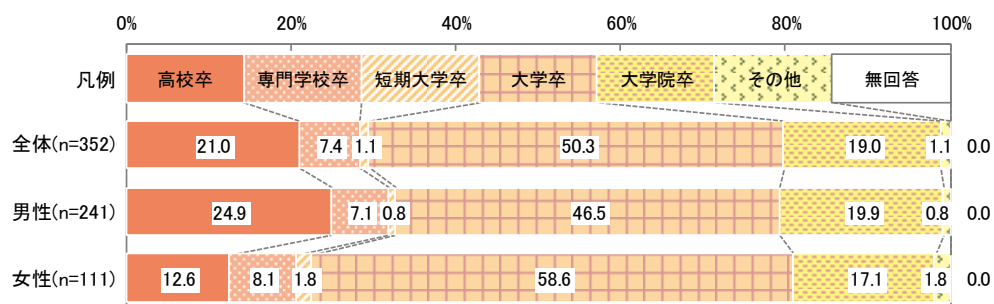
F2. 年齢(n=352)



回答者の性別は、  
男性 68.5%、女性 31.5%

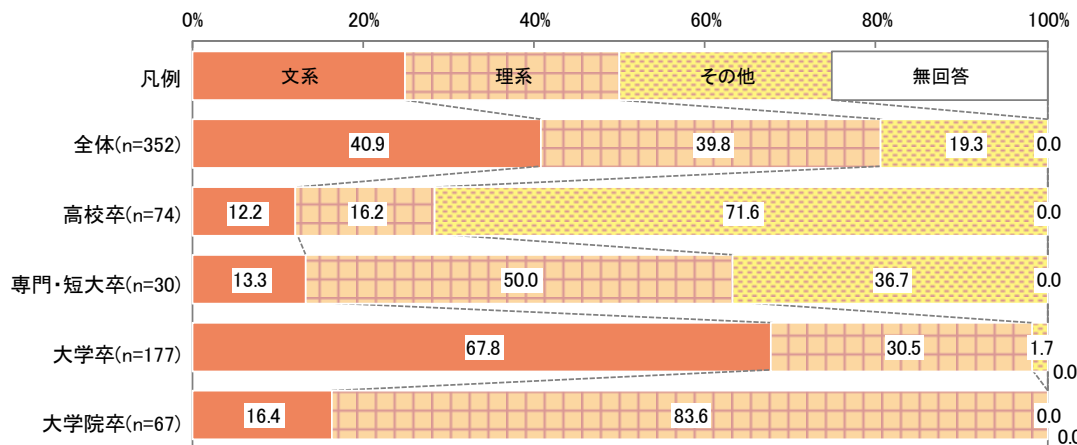
年齢は、「22歳」が 35.8%と最も高く、「18  
～19歳」が 20.2%と続く。平均は 22.1歳。

F3. あなたの最終学歴をお答えください。(1つだけ選択)(n=352)



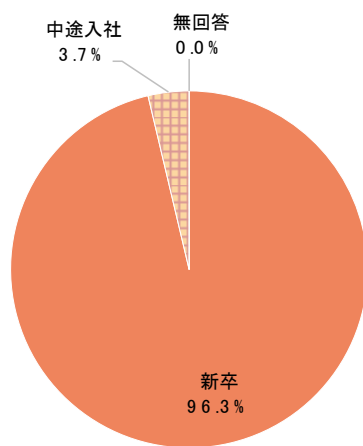
最終学歴は、「大学卒」が 50.3%を占め、「高校卒」(21.0%)、「大学院卒」(19.0%)と続く。性別でみると、『女性』の「大学卒」が 58.6%と『男性』よりも 10ポイント以上高くなっている。

F4. ご出身の学部・学科をお答えください。(1つだけ選択)(n=352)



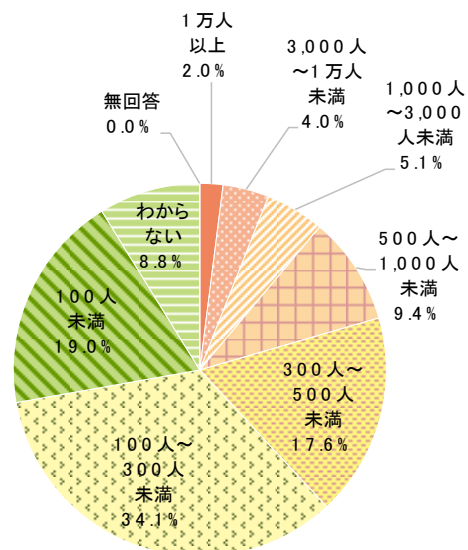
出身の学部・学科は「文系」が40.9%、「理系」が39.8%とほぼ同程度。最終学歴で見ると、『大学卒』では「文系」が67.8%、「理系」が30.5%、『大学院卒』では「理系」が83.6%、「文系」が16.4%となっている。

F5. 入社形態(n=352)



入社形態は、「新卒」が96.3%を占める。

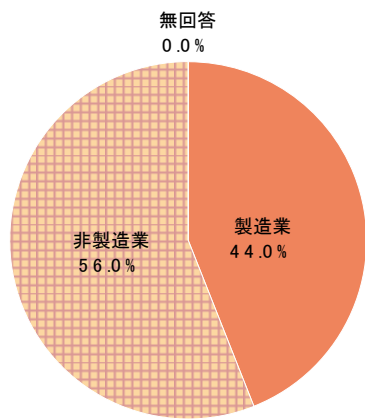
F7. 勤務先の従業員数(会社全体)(n=352)



勤務先の従業員数は、「100人~300人未満」(34.1%)が最も高く、「100人未満」(19.0%)、「300人~500人未満」(17.6%)、と続く。



F6. 勤務先の業種(n=352)



勤務先の業種は「製造業」が44.0%、「非製造業」は56.0%となっている。

	回答者数	%
合計	352	100.0
1. 農林水産業	0	0.0
2. 建設業	20	5.7
3. 製造業	155	44.0
4. 電気・ガス・水道供給	20	5.7
5. 情報通信業	25	7.1
6. 運輸業	7	2.0
7. 商社・卸売業	26	7.4
8. 小売業	4	1.1
9. 金融・保険業・証券	12	3.4
10. 不動産業	4	1.1
11. 飲食・宿泊業	0	0.0
12. 医療・福祉	4	1.1
13. 教育・学習支援	9	2.6
14. 広告・マスコミ	7	2.0
15. 官公庁・団体	14	4.0
16. サービス業	26	7.4
17. その他	19	5.4

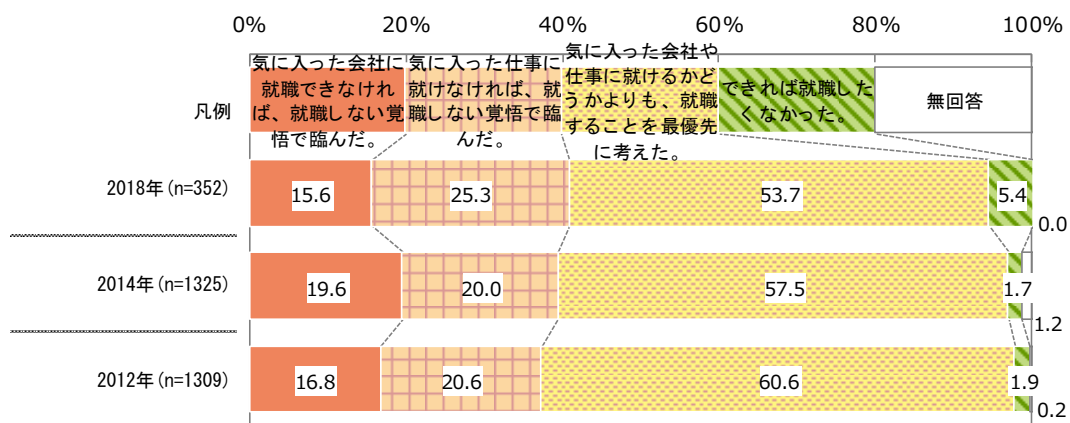
## 4. 調査結果

### 4. 1 就職活動から入社するまでの意識

#### (1) 就職活動に臨んだ時の気持ち

全体では、「気に入った会社や仕事に就けるかどうかよりも、就職することを最優先に考えた。」(53.7%)が最も高く、「気に入った仕事に就けなければ、就職しない覚悟で臨んだ。」(25.3%)、「気に入った会社に就職できなければ、就職しない覚悟で臨んだ。」(15.6%)と続く。

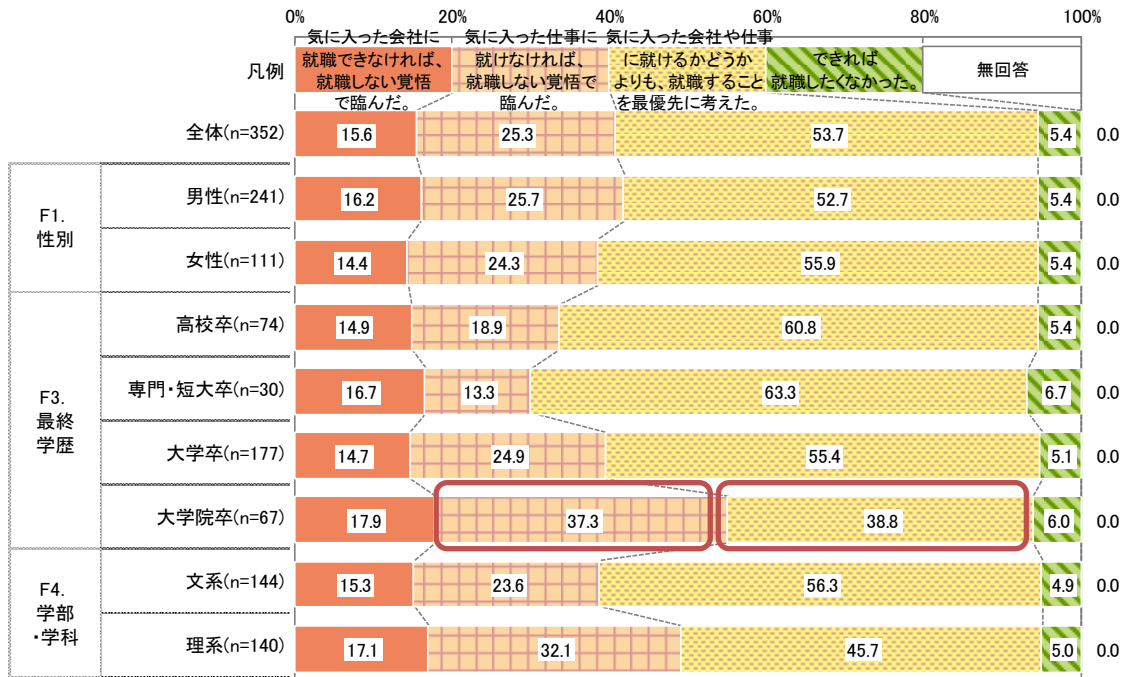
問1. あなたはどのような気持ちで就職活動に臨みましたか。(1つだけ選択)



時系列でみると、「気に入った会社や仕事に就けるかどうかよりも、就職することを最優先に考えた。」は減少傾向にある。逆に、「気に入った仕事に就けなければ、就職しない覚悟で臨んだ。」が前回よりも5.3ポイント増加した。また「できれば就職したくなかった。」は5.4%と低いものの前回より3.7ポイント増加した。

属性別にみると、「気に入った会社や仕事に就けるかどうかよりも、就職することを最優先に考えた。」はどの属性でも最も高いが、『大学院卒』では38.8%となり、「気に入った仕事に就けなければ、就職しない覚悟で臨んだ。」(37.3%)と同程度となっている。

問1. あなたはどのような気持ちで就職活動に臨みましたか。(1つだけ選択)(n=352)

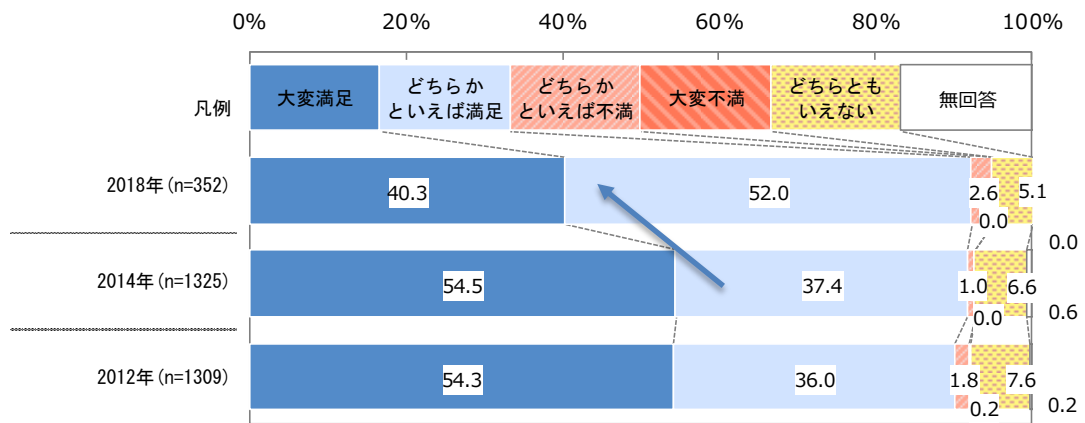


(2) 入社した会社への満足度

全体では、『満足』が 92.3%【「大変満足」(40.3%)と「どちらかといえば満足」(52.0%)を合算】であった。

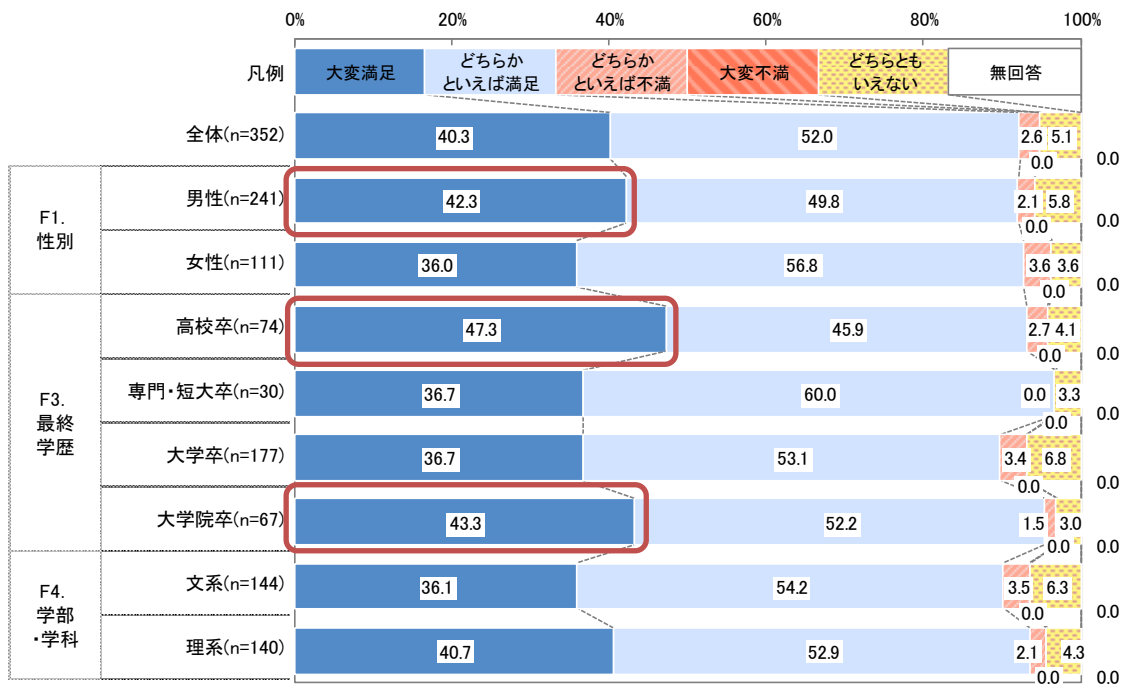
時系列でみると、「大変満足」が前回調査より 14.2 ポイント低くなっている。

問2. あなたは、入社した会社に満足していますか。(1つだけ選択)



属性別にみると、性別では『男性』において、最終学歴では『高校卒』『大学院卒』において、「大変満足」と回答している割合が高い。

問2. あなたは、入社した会社に満足していますか。(1つだけ選択)(n=352)

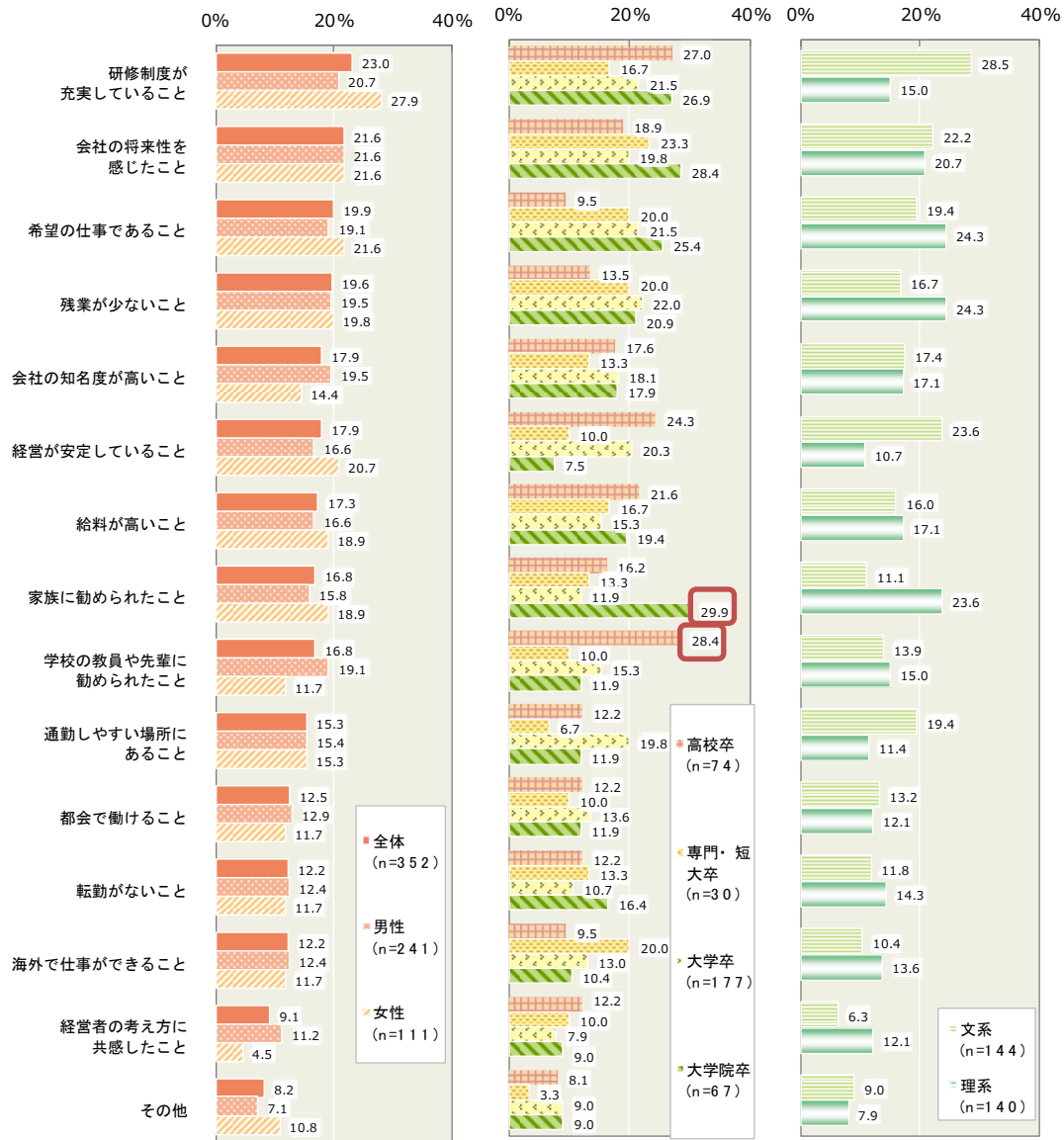


### (3) 会社を選ぶ決め手

全体では、「研修制度が充実していること」(23.0%)が最も高く、「会社の将来性を感じたこと」(21.6%)、「希望の仕事であること」(19.9%)、「残業が少ないこと」(19.6%)が続く。

属性別にみると、『高校卒』では「学校の教員や先輩に勧められたこと」が、『大学院卒』では「家族に勧められたこと」が最も高くなっている。

問3. あなたが就職先として今の会社を選ぶ決め手になったことは何ですか。(3つまで選択)(n=352)



#### 4. 2 仕事・働くことへの考え

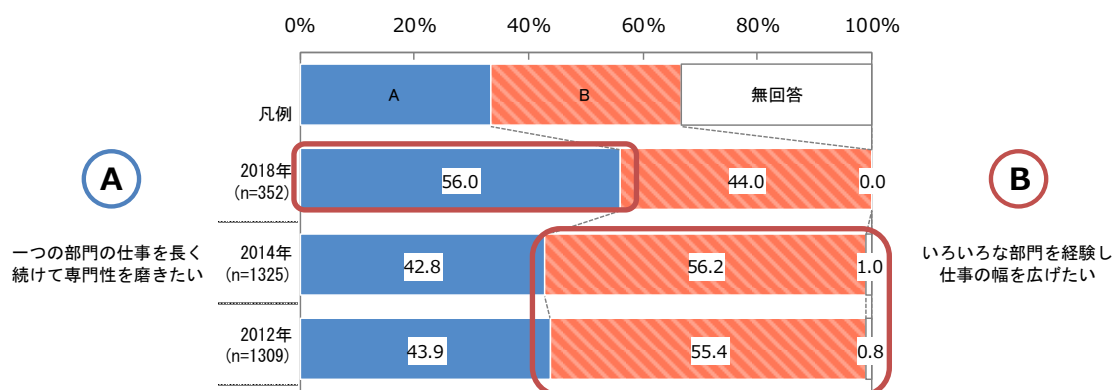
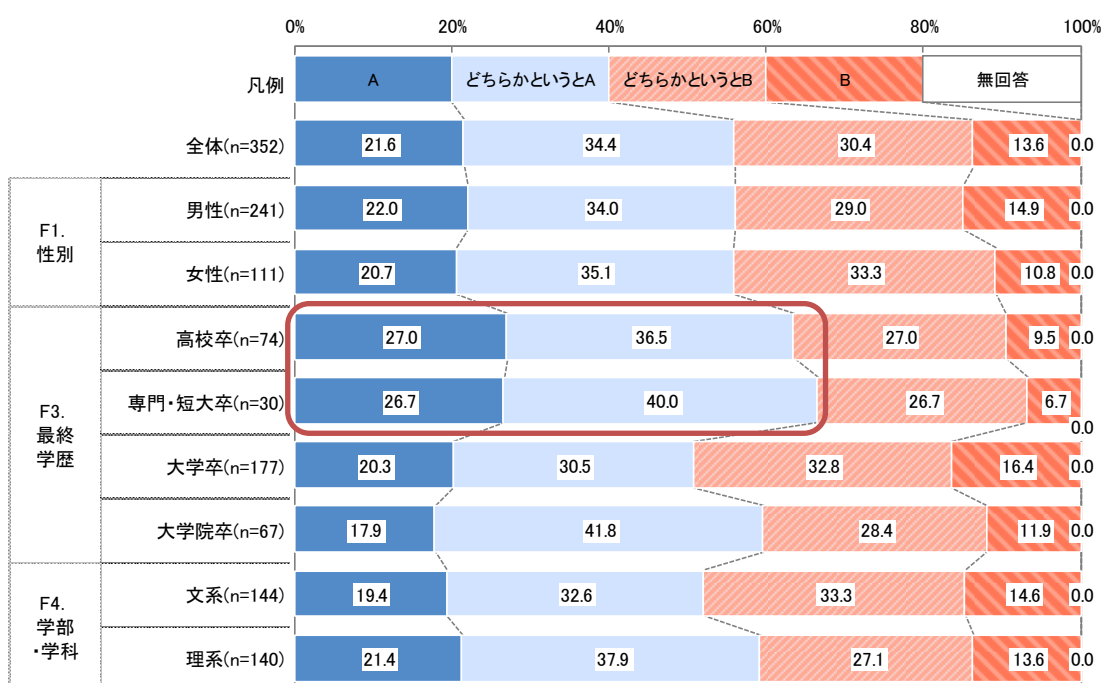
##### (1) 仕事・働き方に対する考え

仕事や働き方に対する考え方として、「A）一つの部門の仕事を長く続けて専門性を磨きたい」か「B）いろいろな部門を経験し仕事の幅を広げたい」かについて聞いたところ、全体では、「A」が 56.0%（「A」「どちらか」というと A」の合算）となり、「B」の 44.0%（「B」「どちらか」というと B」の合算）を上回った。

時系列でみると、2012 年、2014 年は「B」の方が高かったが、今回は「A」と「B」が逆転した。

属性別でみると、最終学歴では『高校卒』『専門・短大卒』において、「A」を挙げる割合が他に比べて高い。

問4(1). 仕事・働き方に対する考えについて(n=352)  
 A)一つの部門の仕事を長く続けて専門性を磨きたい  
 B)いろいろな部門を経験し仕事の幅を広げたい



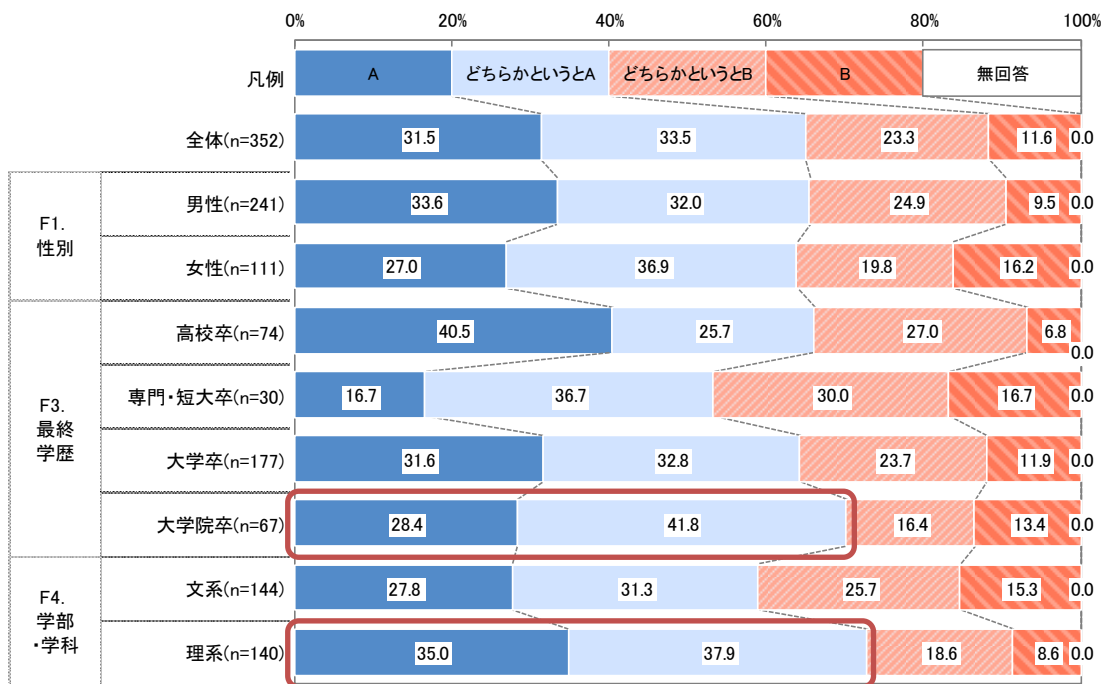
「A) 定年まで一つの会社に勤めたい」か「B) 機会があれば転職・独立したい」かについて聞いたところ、全体では、「A」が65.0%（「A」「どちらかというA」の合算）となり、「B」の34.9%（「B」「どちらかというB」の合算）を上回っている

属性別で見ると、最終学歴では『大学院卒』、学部・学科では『理系』において、「A」を挙げる割合が他に比べて高い。

問4(2). 仕事・働き方に対する考えについて(n=352)

A) 定年まで一つの会社に勤めたい

B) 機会があれば転職・独立したい



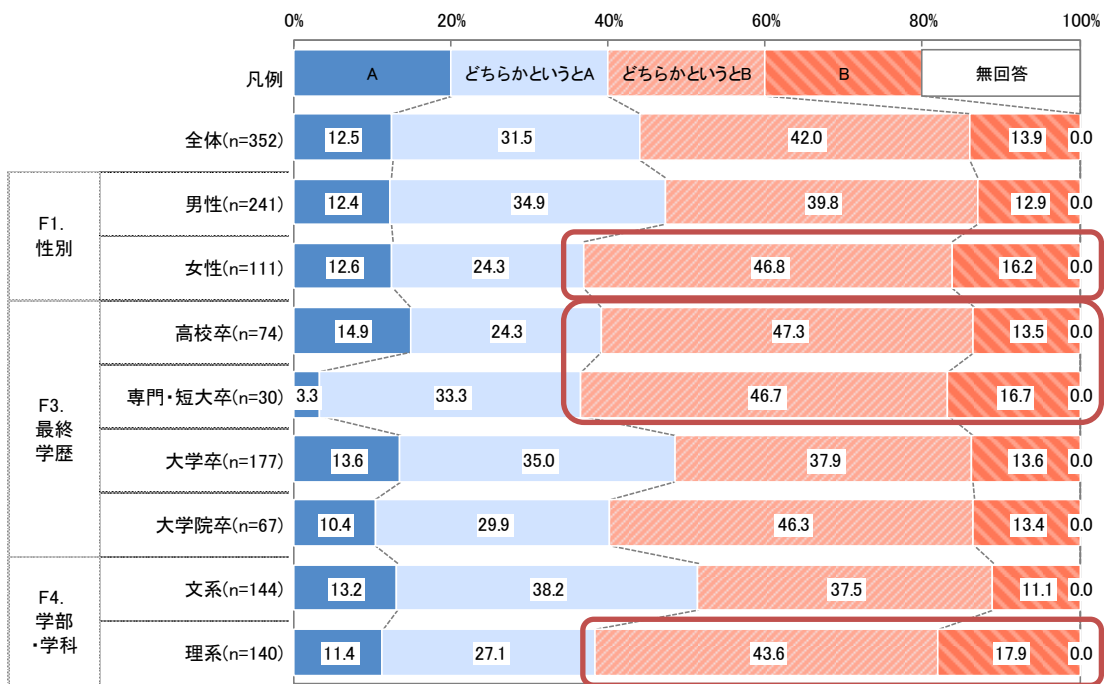
「A) 能力以上にがむしゃらに働く」か「B) 能力の範囲内でほどほどに働く」かについて聞いたところ、全体では、「B」が 55.9%（「B」「どちらかというとも B」の合算）となり、「A」の 44.0%（「A」「どちらかというとも A」の合算）を上回っている

属性別でみると、性別では『女性』、最終学歴では『高校卒』『専門・短大卒』、学部・学科では『理系』において、「B」を挙げる割合が他に比べて高い。

問4(3). 仕事・働き方に対する考えについて(n=352)

A) 能力以上にがむしゃらに働く

B) 能力の範囲内でほどほどに働く





「A) プライベートを優先したい」か「B) 仕事を優先したい」かについて聞いたところ、全体では、「A」が 75.8%（「A」「どちらか」というと A の合算）となり、「B」の 24.2%（「B」「どちらか」というと B の合算）を大きく上回っている。

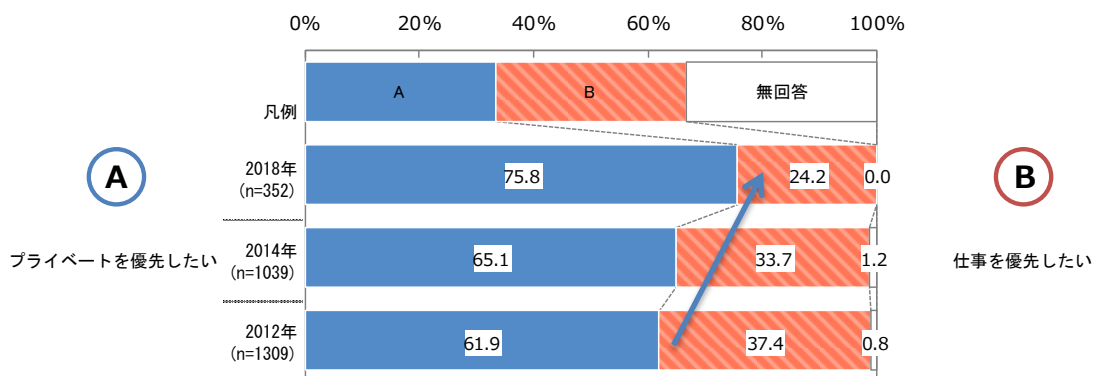
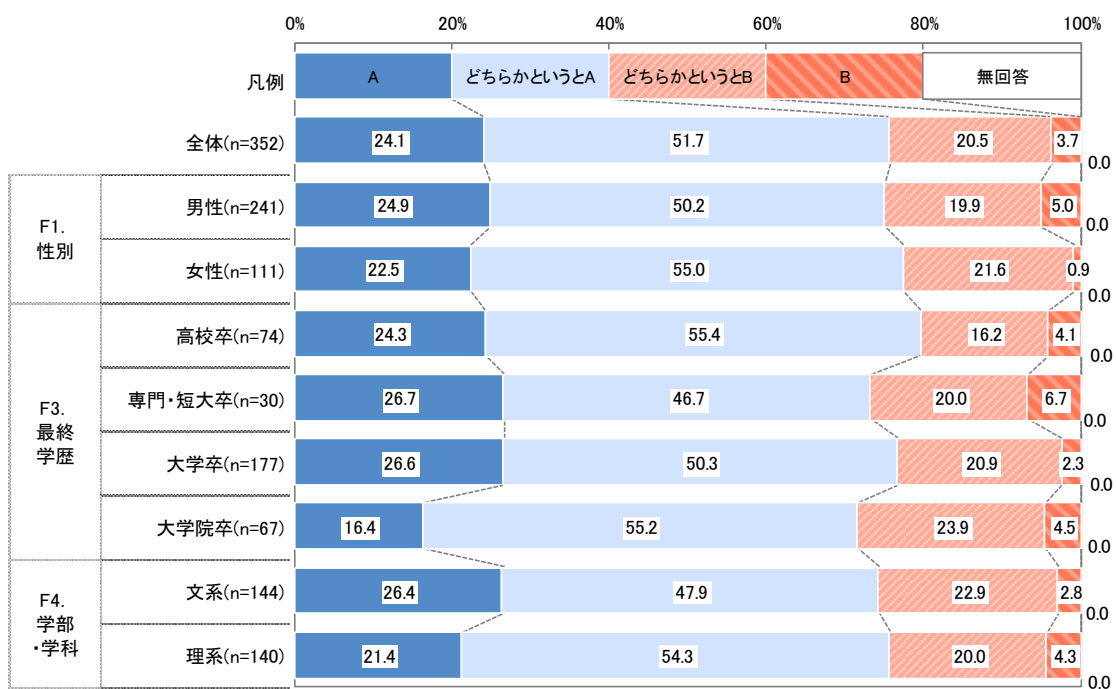
時系列でみると、2012 年より「A」を挙げる割合が増加している。

属性別でみると、あまり大きな差は見られない。

問4(4). 仕事・働き方に対する考えについて(n=352)

A) プライベートを優先したい

B) 仕事を優先したい



A

プライベートを優先したい

B

仕事を優先したい

## (2) 働きたい職場

働きたい職場として、「A) 個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場」か「B) 競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場」かについて聞いたところ、全体では、「A」が 65.0%（「A」「どちらか」というと A）の合算）となり、「B」の 35.0%（「B」「どちらか」というと B）の合算）を上回っている。

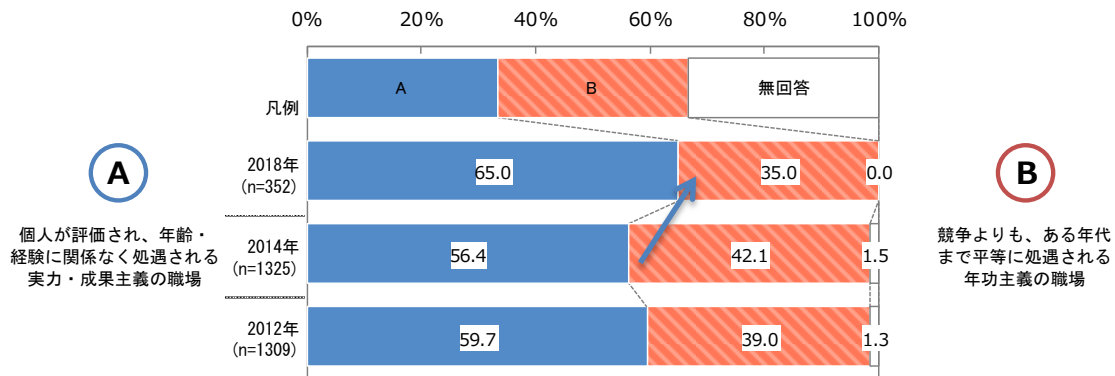
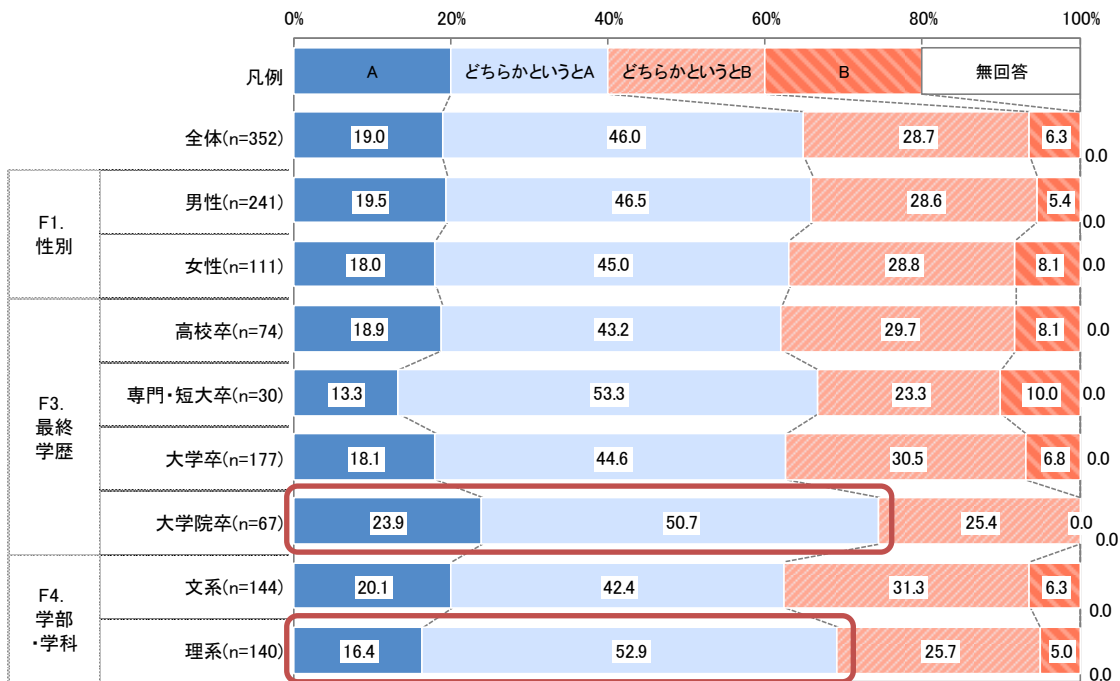
時系列でみると、2014年より「A」が増加している。

属性別でみると、最終学歴では『大学院卒』、学部・学科では『理系』において、「A」を挙げる割合が他に比べて高い。

問5(1). 働きたい職場について(n=352)

A) 個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場

B) 競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場



**A**

個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場

**B**

競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場

「A) チームワークを重視する職場」か「B) 個人の裁量に任せられる職場」かについて聞いたところ、全体では、「A」が 75.3%（「A」「どちらか」というと A の合算）となり、「B」の 24.7%（「B」「どちらか」というと B の合算）を大きく上回っている。

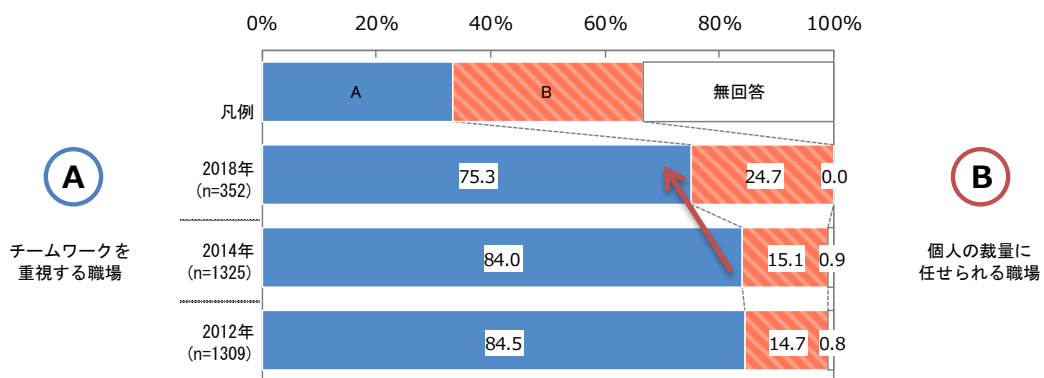
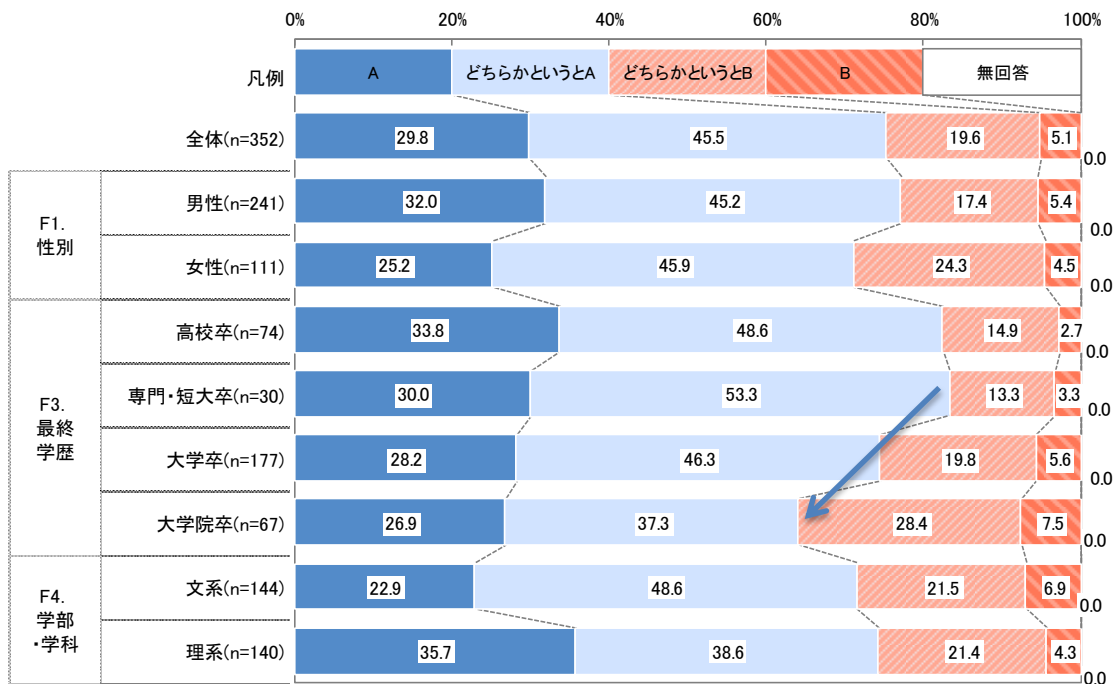
時系列でみると、2014 年より「B」が増加している。

属性別でみると、最終学歴では『高校卒』『専門・短大卒』において「A」を挙げる割合が高く、学歴が高くなるにつれて、「A」を挙げる割合が低くなっている。

問5(2). 働きたい職場について(n=352)

A) チームワークを重視する職場

B) 個人の裁量に任せられる職場



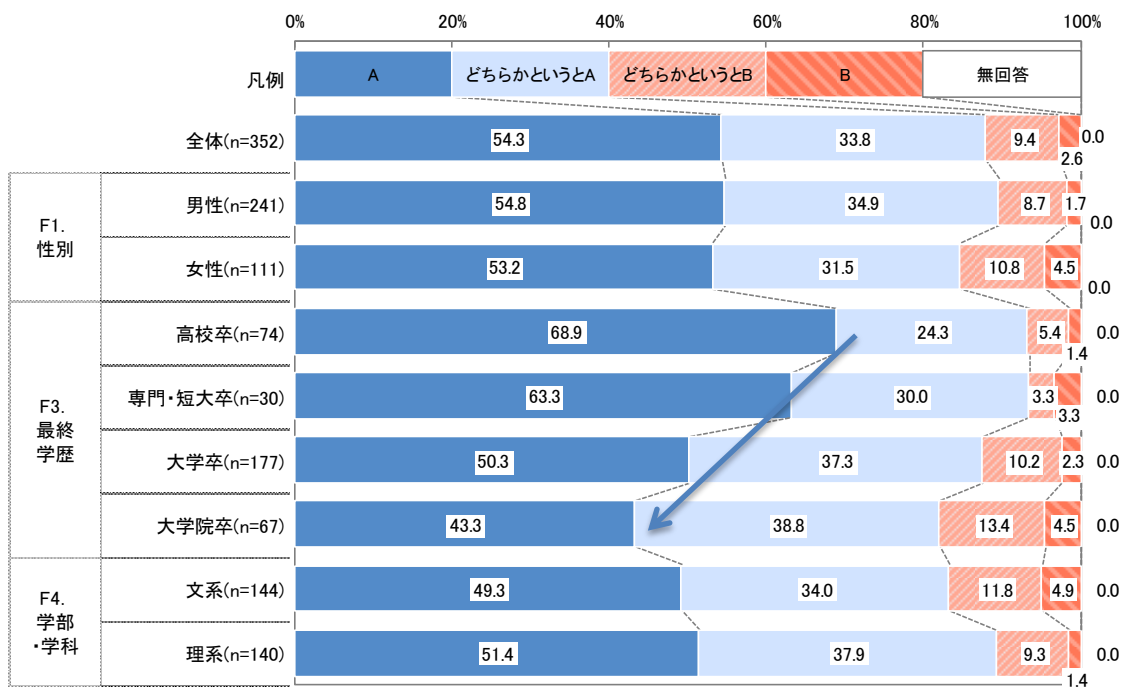
「A) 仕事以外のことも相談できる温かな職場」か「B) 個人的なことには関心をもたないサバサバした職場」かについて聞いたところ、「A」と「どちらかというA」の合計が88.1%、「A」だけで見ても54.3%と高くなっており、「B」の12.0%（「B」「どちらかというB」の合算）を大きく上回っている。

属性別でみると、最終学歴では『高校卒』においてAを挙げる割合が最も高く、学歴が高くなるにつれて、「A」を挙げる割合が低くなっている。

問5(3). 働きたい職場について(n=352)

A) 仕事以外のことも相談できる温かな職場

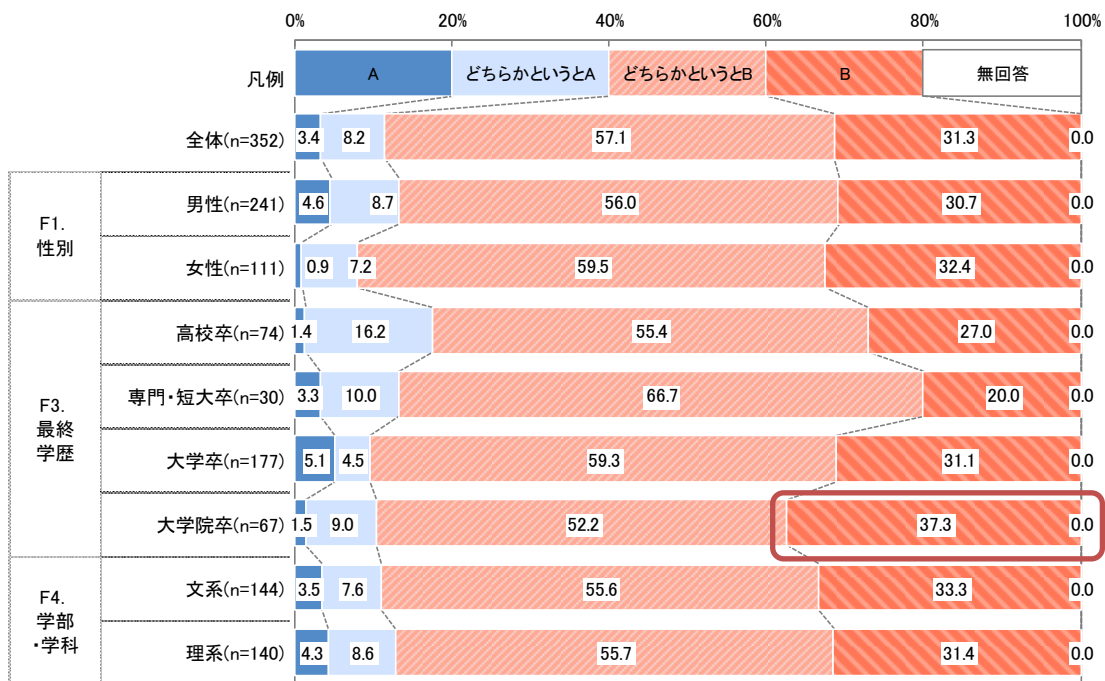
B) 個人的なことには関心をもたないサバサバした職場



「A) 働いた仕事の「量」で評価される職場」か「B) 働いた仕事の「質」で評価される職場」かについて聞いたところ、「B」が 88.4%（「B」「どちらかというとも B」の合算）となり、「A」の 11.6%（「A」「どちらかというとも A」の合算）を大きく上回っている。

属性別でみると、最終学歴では『大学院卒』において、「B」を挙げる割合が他に比べて高い。

問5(4). 働きたい職場について(n=352)  
 A) 働いた仕事の「量」で評価される職場  
 B) 働いた仕事の「質」で評価される職場



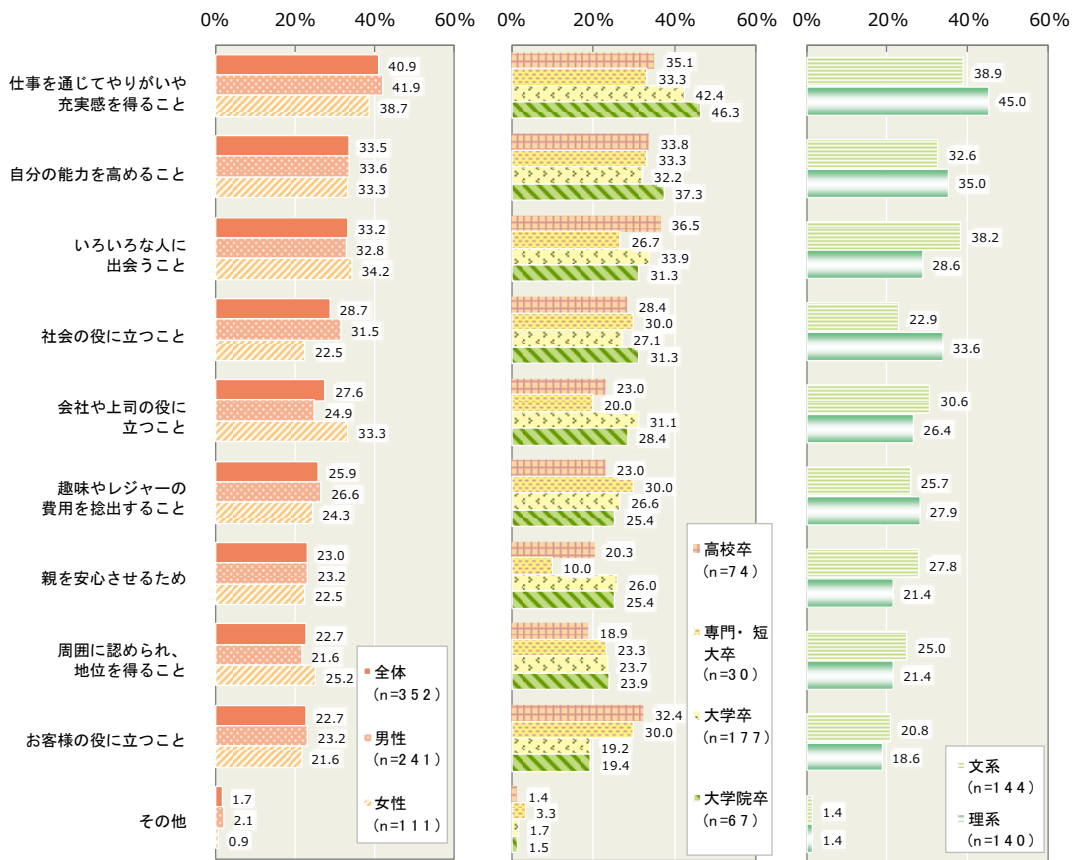
### (3) 働く目的

全体では、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」(40.9%)、「自分の能力を高めること」(33.5%)、「いろいろな人に出会うこと」(33.2%)が上位にあげられている。

属性別にみると、最終学歴の『高校卒』『専門・短大卒』においては「お客様の役に立つこと」、「『大学卒』『大学院卒』においては「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」の比率が相対的に高くなっている。

また、『理系』の方が『文系』よりも、「社会の役に立つこと」の比率が高くなっている。

問6. あなた自身の働く目的は何ですか。生活費を得ること以外でお答えください。(3つまで選択)(n=352)

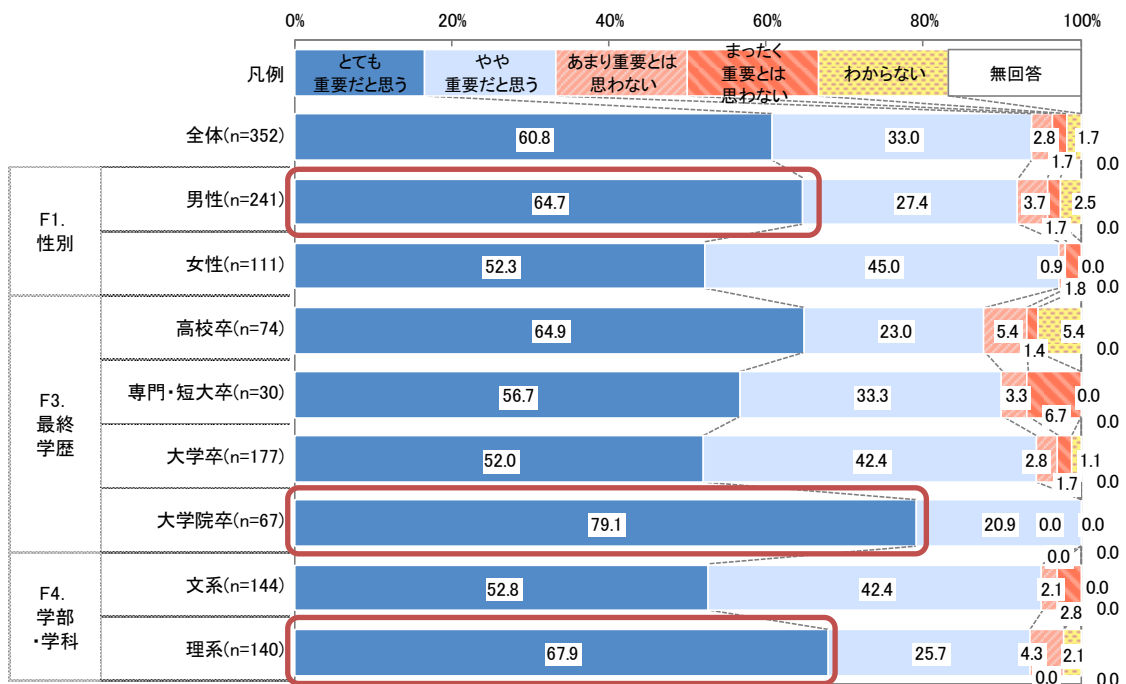


#### (4) 働いている会社が社会に役立っているかの重要度

全体では、社会に役立っているかどうか「重要だと思う」とする回答が 93.8%【「とても重要だと思う」(60.8%)+「やや重要だと思う」(33.0%)を合算】と、大半を占める。

属性別でみると、性別では『男性』、最終学歴では『大学院卒』、学部・学科では『理系』において「とても重要だと思う」を挙げる割合が高い。

問7. あなたは、働いている会社が社会の役に立っているかどうか、どの程度重要と思いますか。(1つだけ選択)(n=352)

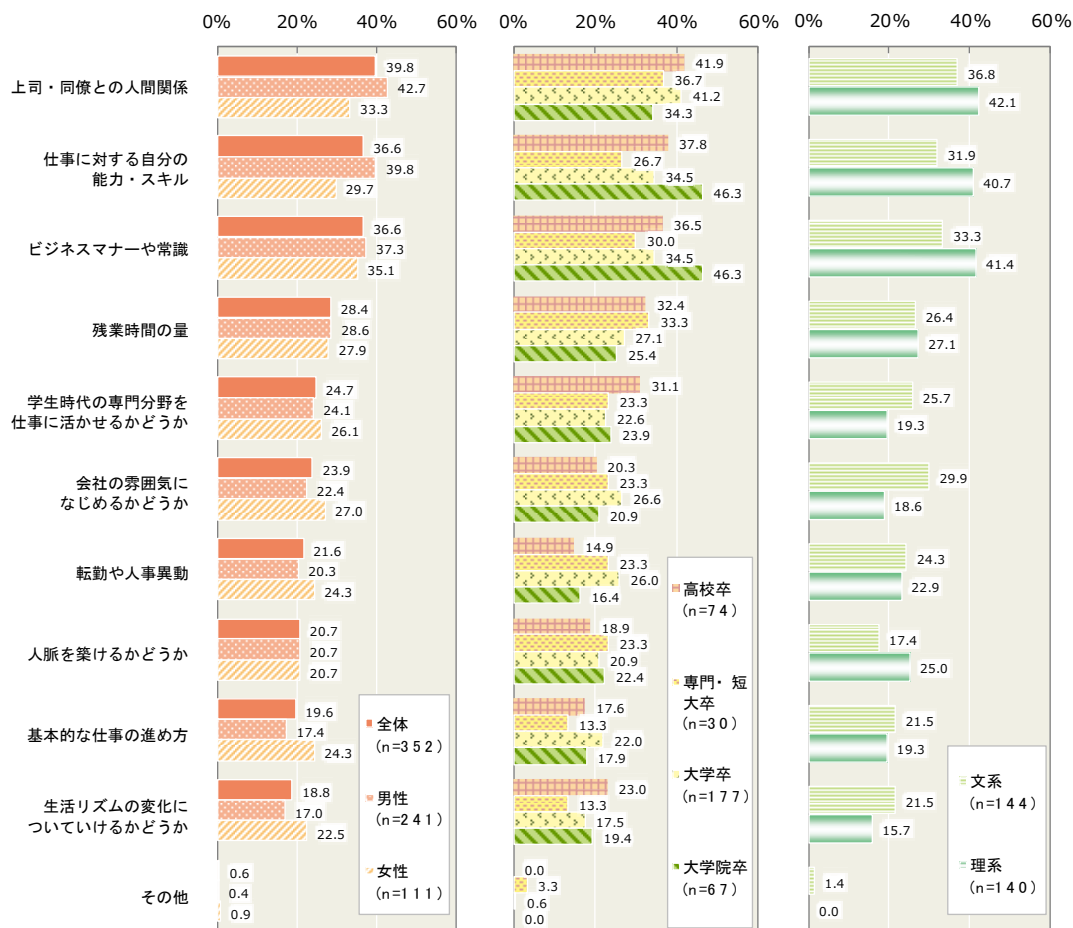


### (5) 仕事をしていく上での不安

全体では、「上司・同僚との人間関係」(39.8%)、「仕事に対する自分の能力・スキル」(36.6%)、「ビジネスマナーや常識」(36.6%)が、上位にあげられている。

属性別にみると、最終学歴の『大学院卒』においては、「仕事に対する自分の能力・スキル」「ビジネスマナーや常識」の比率が相対的に高くなっている。

問8. これから仕事をしていく上で、どのようなことに不安がありますか。(3つまで選択)(n=352)



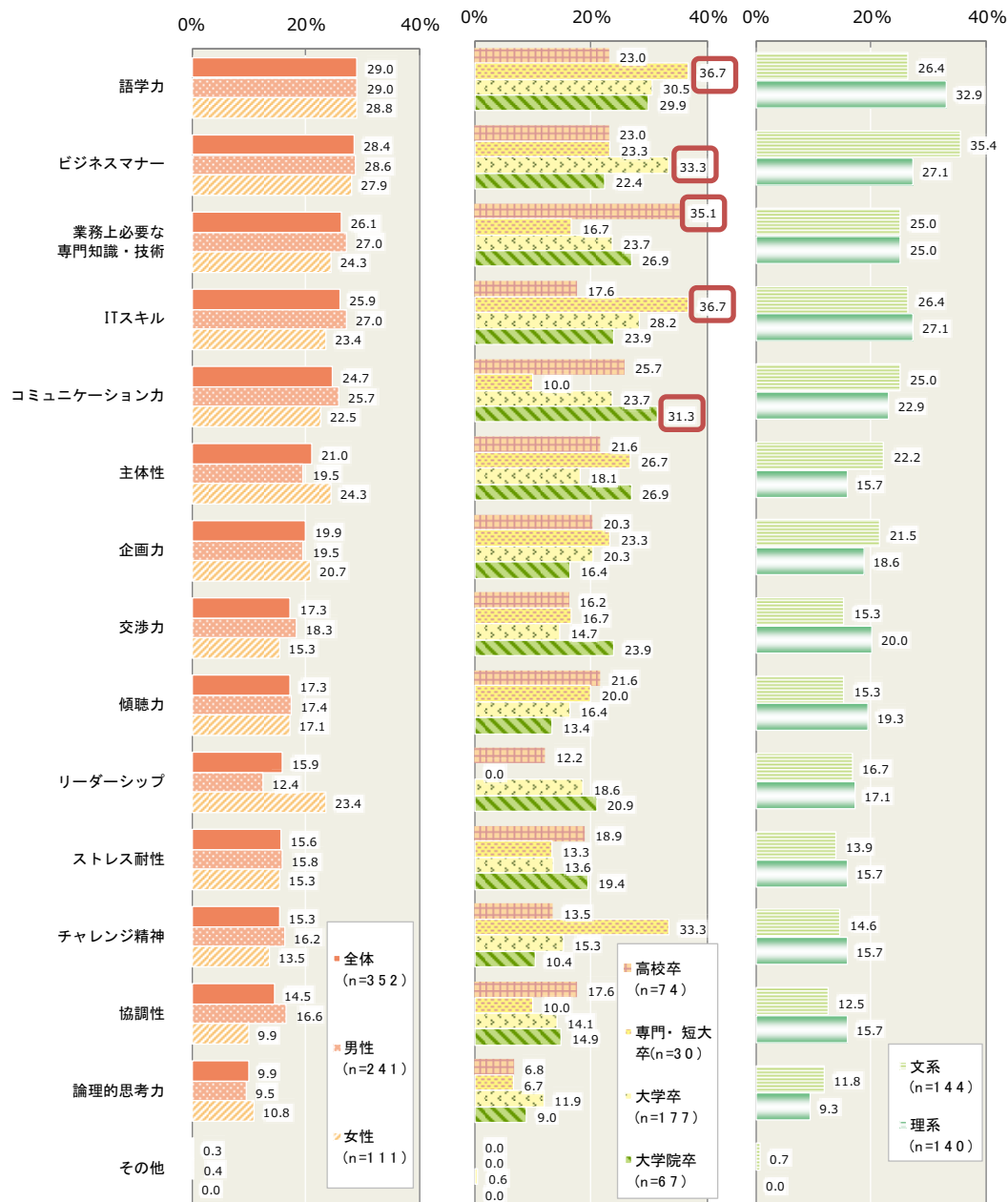


(6) 仕事をしていく上で強化したい能力・スキル

全体では、「語学力」(29.0%)が最も高く、「ビジネスマナー」(28.4%)、「業務上必要な専門知識・技術」(26.1%)、「ITスキル」(25.9%)、「コミュニケーション力」(24.7%)と続く。

属性別で見ると、最終学歴の『高校卒』では「業務上必要な専門知識・技術」、『専門・短大卒』では「語学力」「ITスキル」、『大学卒』では「ビジネスマナー」、『大学院卒』では「コミュニケーション力」が第1位となっている。

問9. これから仕事をしていく上で、強化したいと思う能力・スキルは何ですか。(3つまで選択)(n=352)

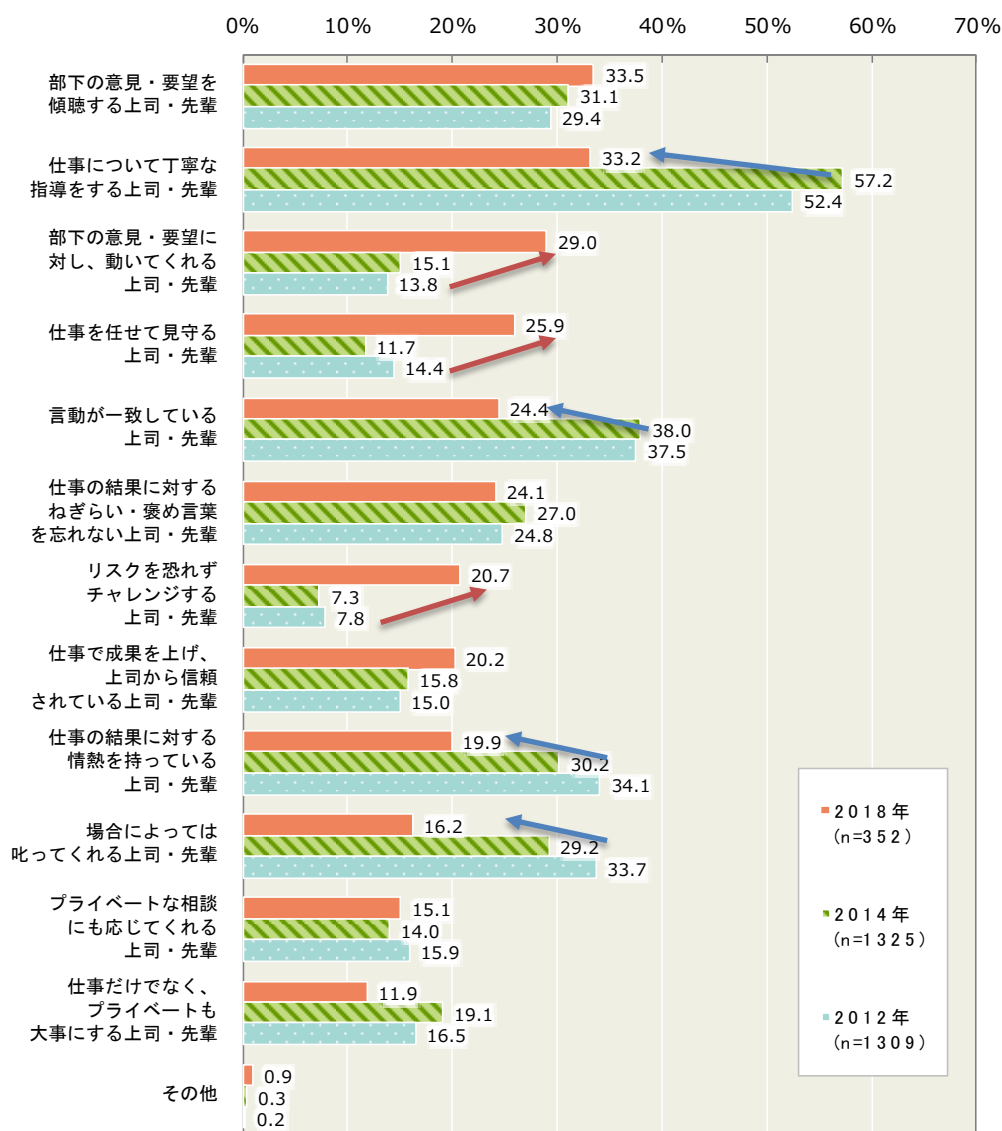


### (7) 理想的だと思う上司・先輩

全体では、「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」(33.5%)、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」(33.2%)、「部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩」(29.0%)、が上位にあげられている。

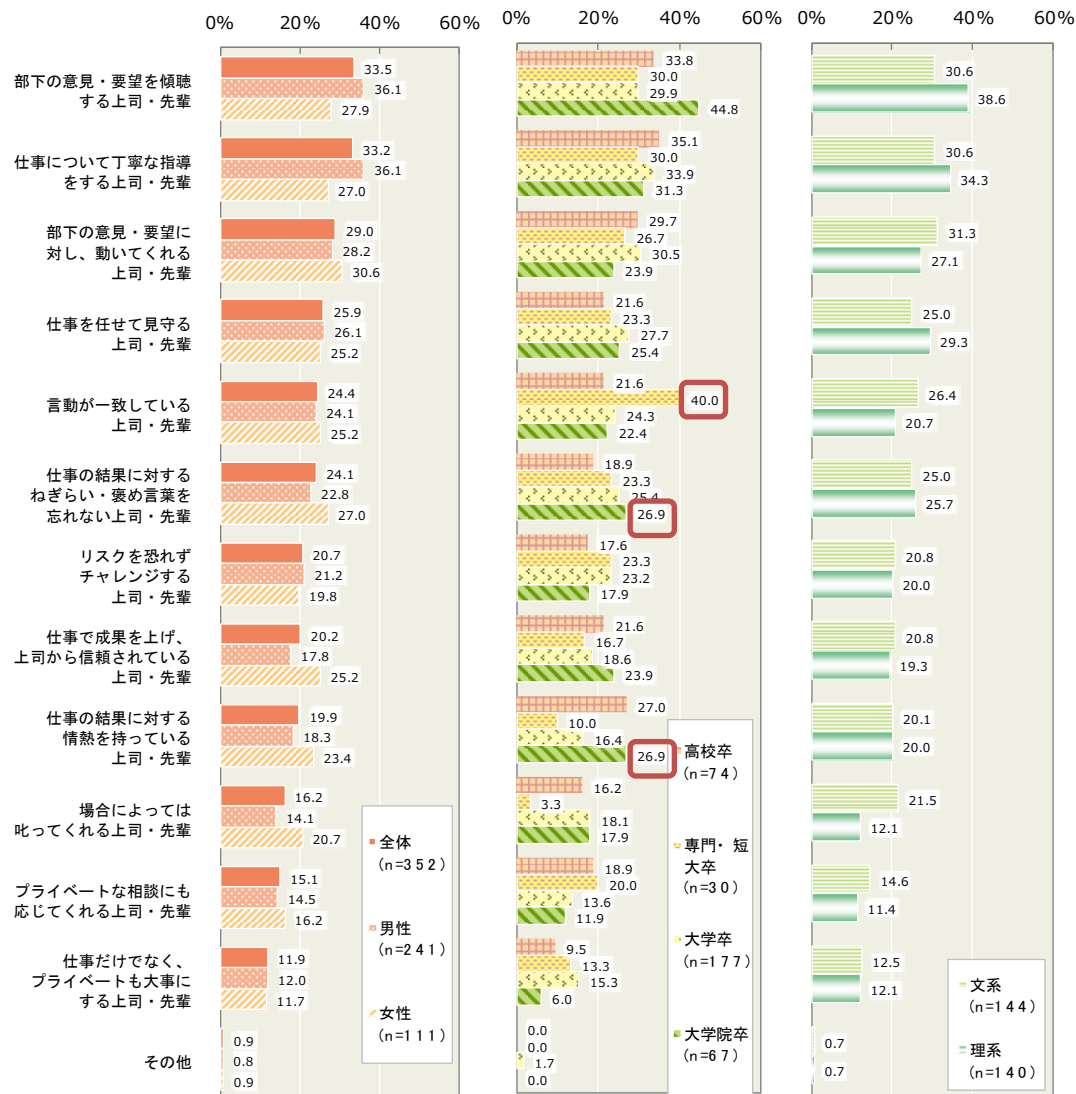
時系列でみると、「部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩」「仕事を任せて見守る上司・先輩」「リスクを恐れずチャレンジする上司・先輩」が、前回よりも10ポイント以上増加している。逆に「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」「言動が一致している上司・先輩」「仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩」「場合によっては叱ってくれる上司・先輩」は、前回よりも10ポイント以上低下している。

問10. あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(3つまで選択)



属性別でみると、最終学歴の『専門・短大卒』では「言動が一致している上司・先輩」が第1位、『大学院卒』で「仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」と「仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩」が同率で第3位となっている。

問10. あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(3つまで選択)(n=352)



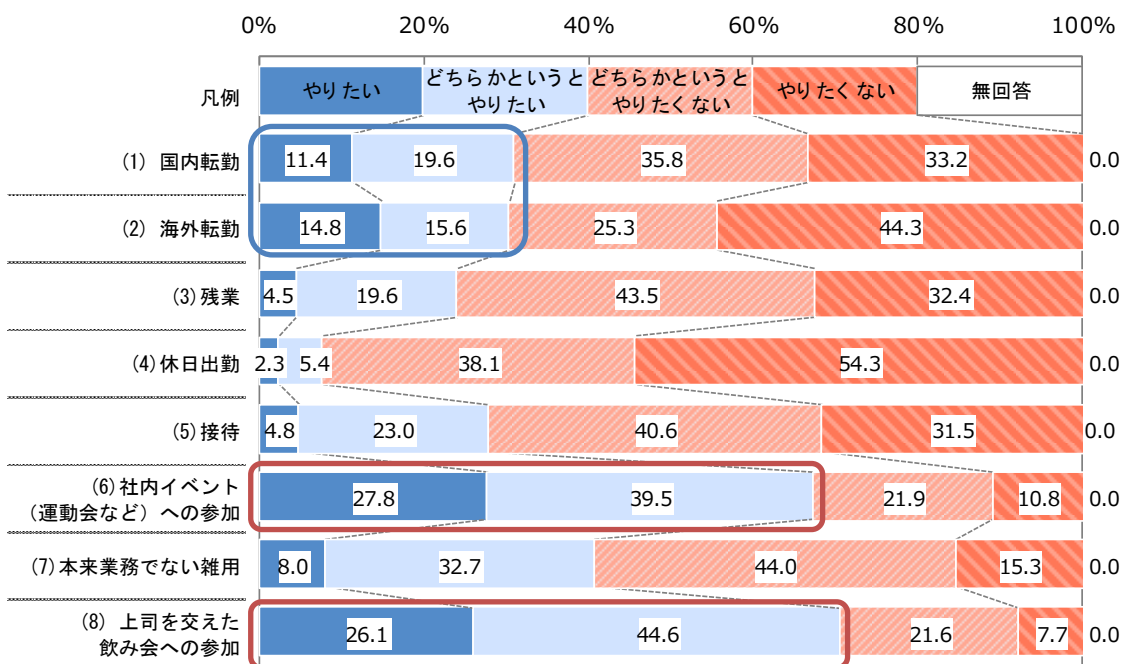
### (8) やりたいこと・やりたくないこと

『国内転勤』、『海外転勤』については、「やりたい」が共に3割程度（「やりたい」+「どちらかというやりたい」の合算）となっている。特に、『海外転勤』は2012年調査では「やりたい」が50.7%であったが、大きく低下している。

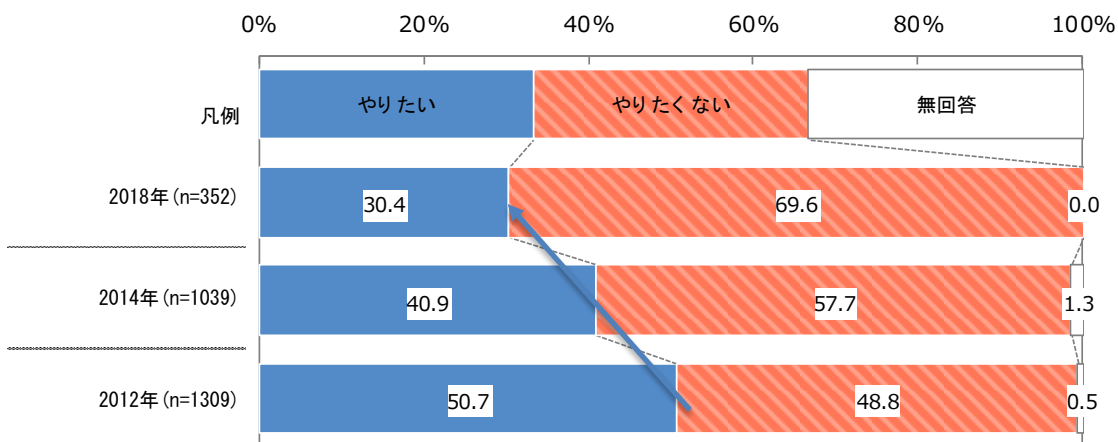
『残業』、『休日出勤』、『接待』などについても、「やりたい（合算）」が3割未満となっており、特に、『休日出勤』は1割以下となっている。

一方で、『社内イベント（運動会など）への参加』、『上司を交えた飲み会への参加』については、「やりたい（合算）」が7割前後と高くなっている。

問11. やりたいこと・やりたくないことについて(n=352)



### 11-2 海外転勤

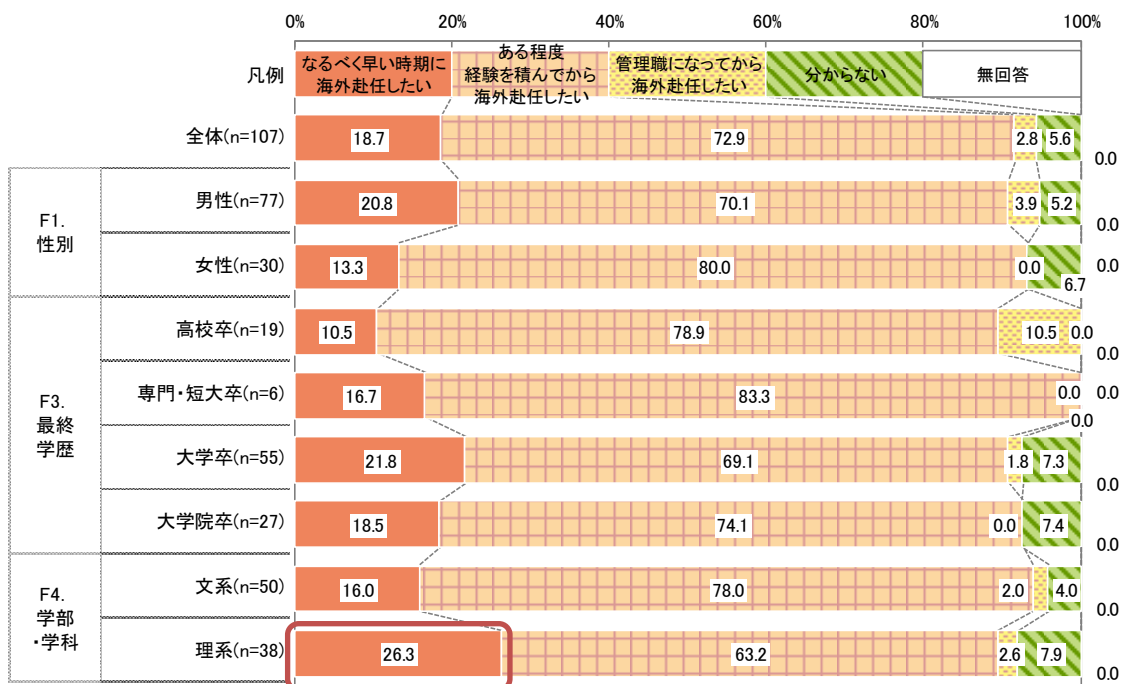


(9) いつごろ海外赴任をしたいか

海外転勤を「やりたい」「どちらかといえばやりたい」と回答した方に、いつ頃海外赴任したいかを聞いたところ、「ある程度経験を積んでから海外赴任したい」(72.9%)が最も高く、「なるべく早い時期に海外赴任したい」(18.7%)が続く。

属性別でみると、学部・学科の『理系』の方が『文系』よりも、「なるべく早い時期に海外赴任したい」を挙げる割合が10ポイント以上高い。

【問11(2)海外転勤を「やりたい」「どちらかといえばやりたい」と回答した方】  
問12. あなたは、いつ頃海外赴任したいですか。(1つだけ選択)(n=107)



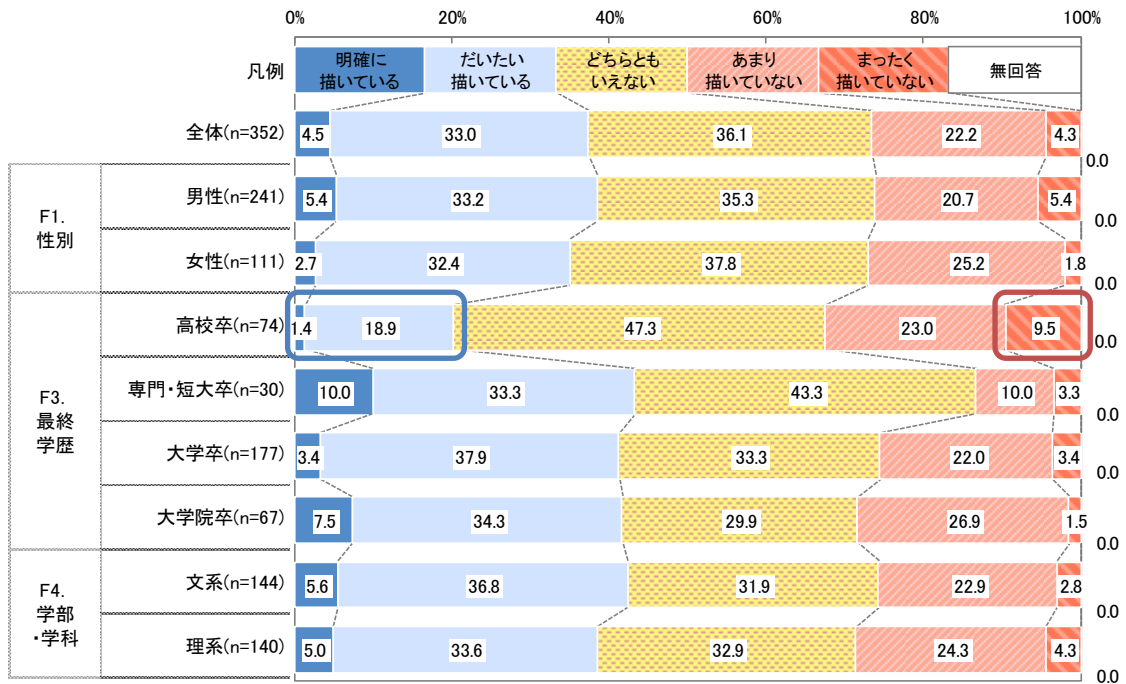
#### 4. 3 キャリア形成や将来について

##### (10) 将来のキャリアのイメージの有無

全体では、将来のキャリアのイメージを『描いている』が37.5%（「明確に描いている」「だいたい描いている」の合算）であった。逆に、『描いていない』は26.5%（「あまり描いていない」「まったく描いていない」の合算）であった。

属性別で見ると、最終学歴の『高校卒』において「描いている」と回答する割合が2割程度と低く、「まったく描いていない」が約1割と、他に比べて高くなっている。

問13. あなたは現時点において、将来のキャリアのイメージを描いていますか。  
(1つだけ選択)(n=352)

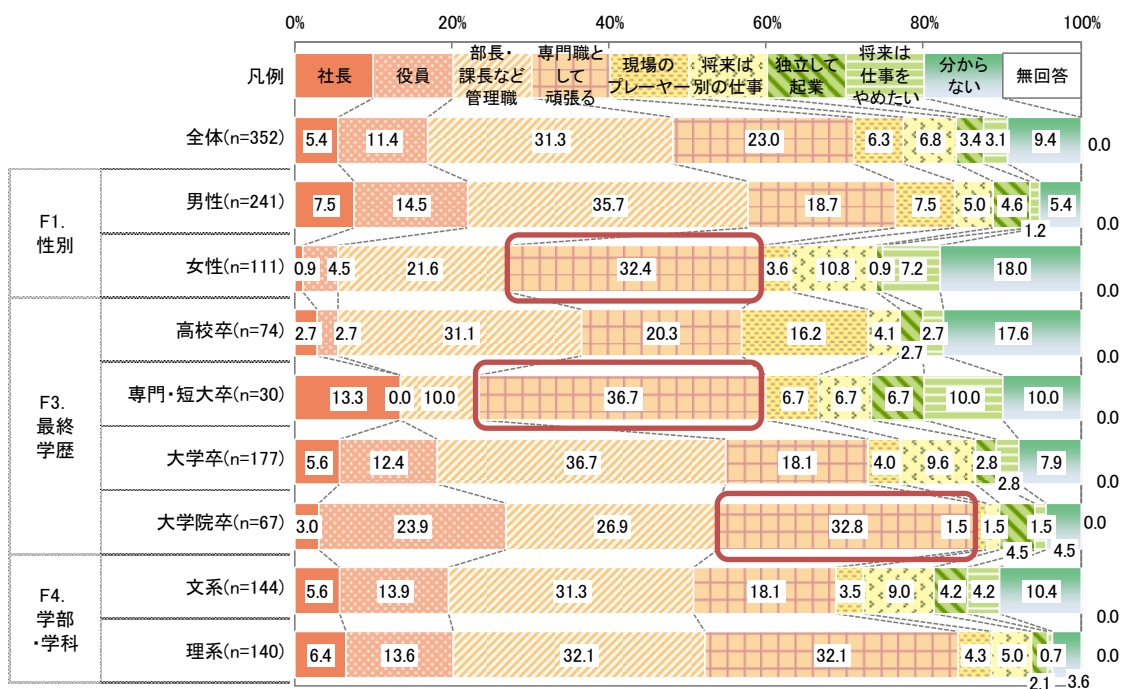


### (11) 将来つきたい職種・役職

全体では、「部長・課長など管理職になりたいと思う」(31.3%)が最も高く、「専門職として頑張りたいと思う」(23.0%)、「役員になりたいと思う」(11.4%)と続く。将来の退社につながる「独立して起業したい」「将来は仕事をやめたい」はいずれも約3%であった。

属性別でみると、性別の『女性』、最終学歴の『専門・短大卒』、『大学院卒』、学部・学科の『理系』において、「専門職として頑張る」が第1位となっている(『理系』は「部長・課長など管理職」と同率)。

問14. あなたは将来どのような職種・役職につきたいと思いますか。(1つだけ選択)(n=352)



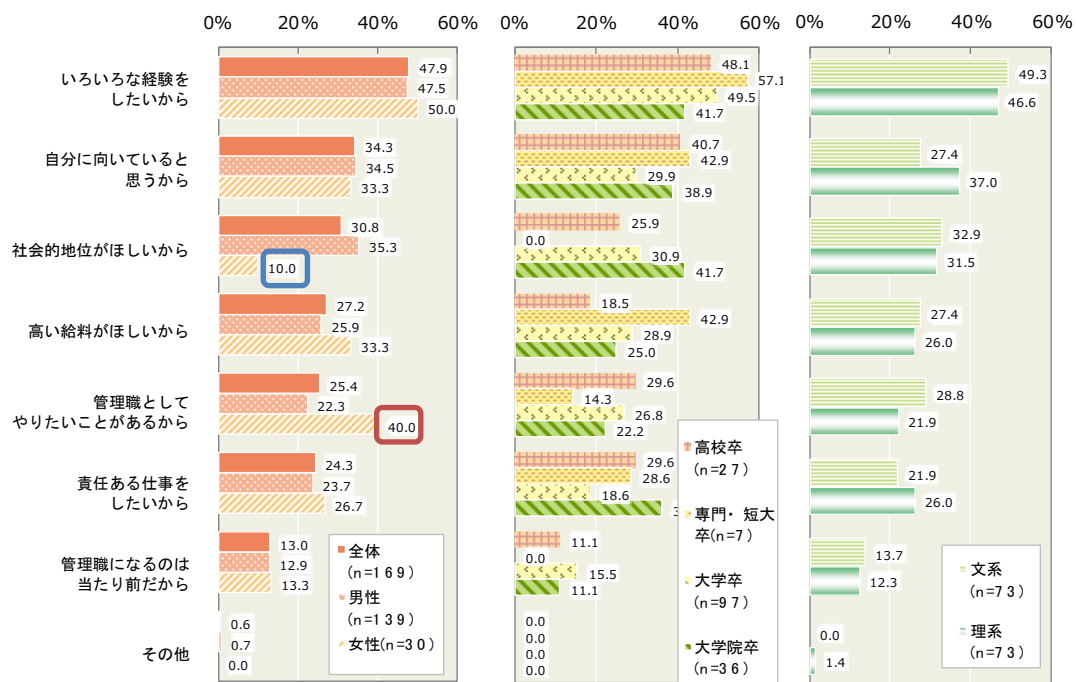
## (12) 経営者・管理職になりたい理由

将来つきたい職種・役職の設問において「管理職」以上と回答した方に、経営者・管理職になりたい理由をたずねたところ、「いろいろな経験をしたいたから」(47.9%)が最も高く、「自分に向いていると思うから」(34.3%)、「社会的地位がほしいから」(30.8%)と続く。

属性別にみると、性別の『女性』において、「管理職としてやりたいことがあるから」が第2位となっている。一方、「社会的地位がほしいから」は1割程度と、『男性』と比べて25ポイント以上低い。

### 【問14. 将来つきたい職種・役職で「社長」「役員」「部長・課長など管理職」と回答した方】

問15. 経営者・管理職になりたい理由は何ですか。(いくつでも選択)(n=169)



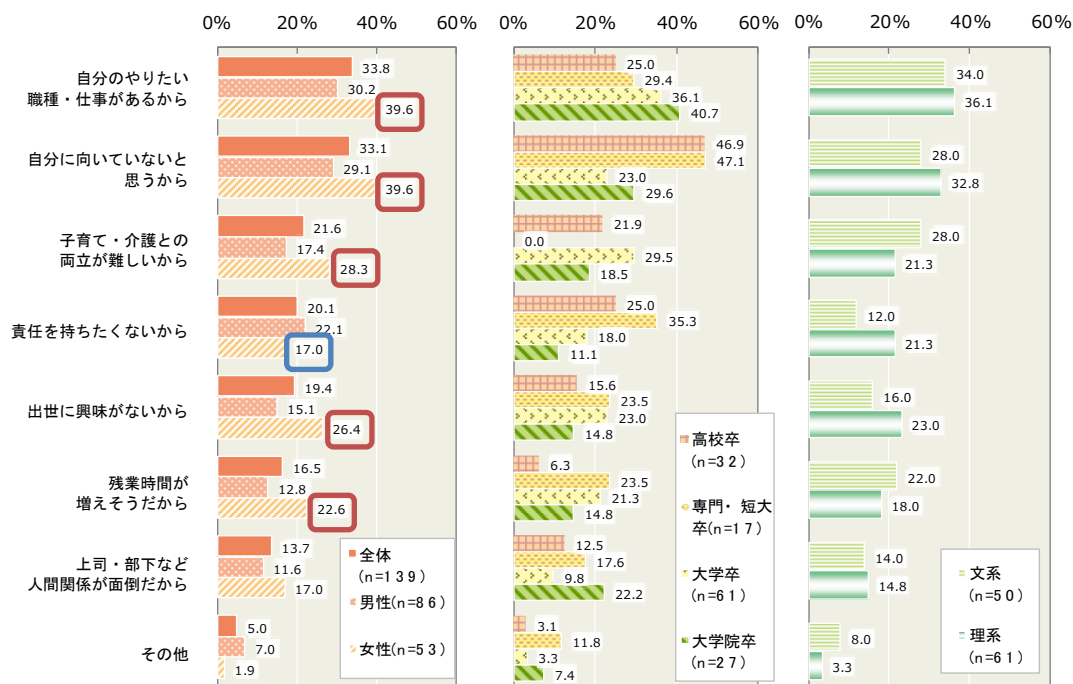


### (13) 経営者・管理職になりたくない理由

将来つきたい職種・役職の設問において「専門職」「現場のプレーヤー」「別の仕事」「起業したい」と回答した方に、経営者・管理職になりたくない理由をたずねたところ、「自分のやりたい職種・仕事があるから」(33.8%)、「自分に向いていないと思うから」(33.1%)が上位にあげられている。

属性別でみると、性別では『女性』が大半の項目で『男性』を上回っているが、「責任を持ちたくないから」については男性の方が5ポイント高くなっている。

【問14. 将来つきたい職種・役職で「専門職」「現場のプレーヤー」「別の仕事」「起業したい」と回答した方】  
問16. 経営者・管理職になりたくない理由は何ですか。(いくつでも選択)(n=139)

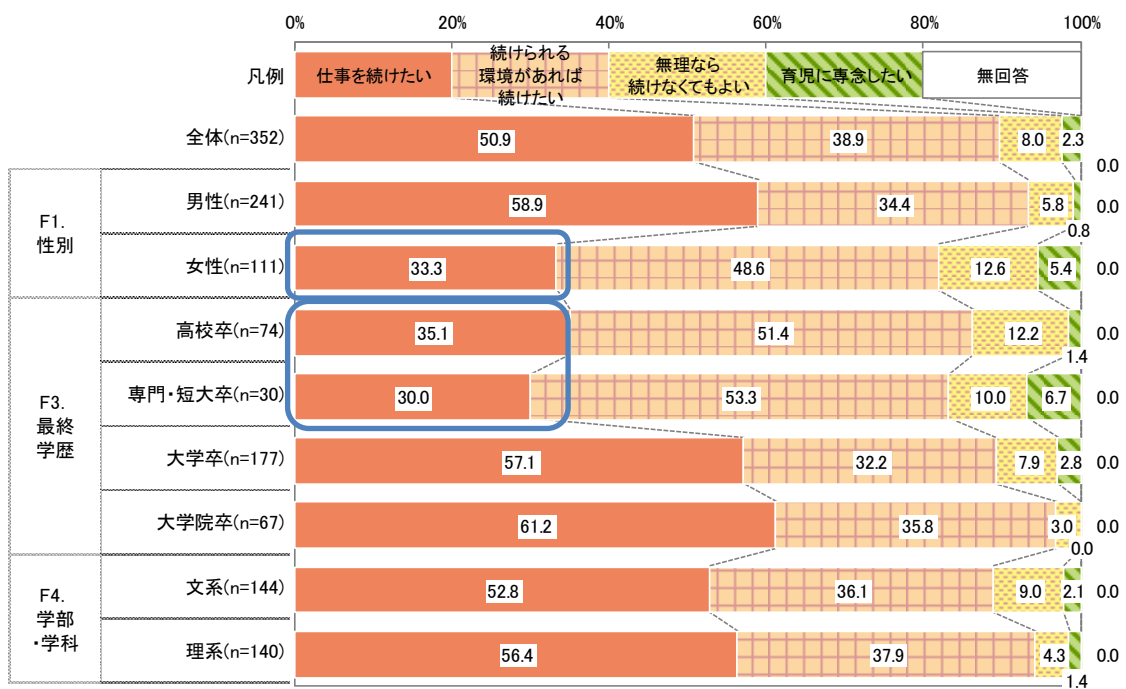


#### (14) 将来の育児と仕事についての考え【自分自身】

将来の育児と仕事について、自分自身については、「仕事を続けたい」が50.9%、「続けられる環境があれば続けたい」が38.9%となり、約9割が「仕事を続けたい」と回答している。

属性別にみると、性別の『男性』では「仕事を続けたい」が58.9%であるが、『女性』では33.3%と男性に比べて低くなっている。また最終学歴の『高校卒』『専門・短大卒』において、「仕事を続けたい」が低い傾向が見られる。

問17(1). 将来の育児と仕事についての考え: 自分自身について  
(1つだけ選択)(n=352)

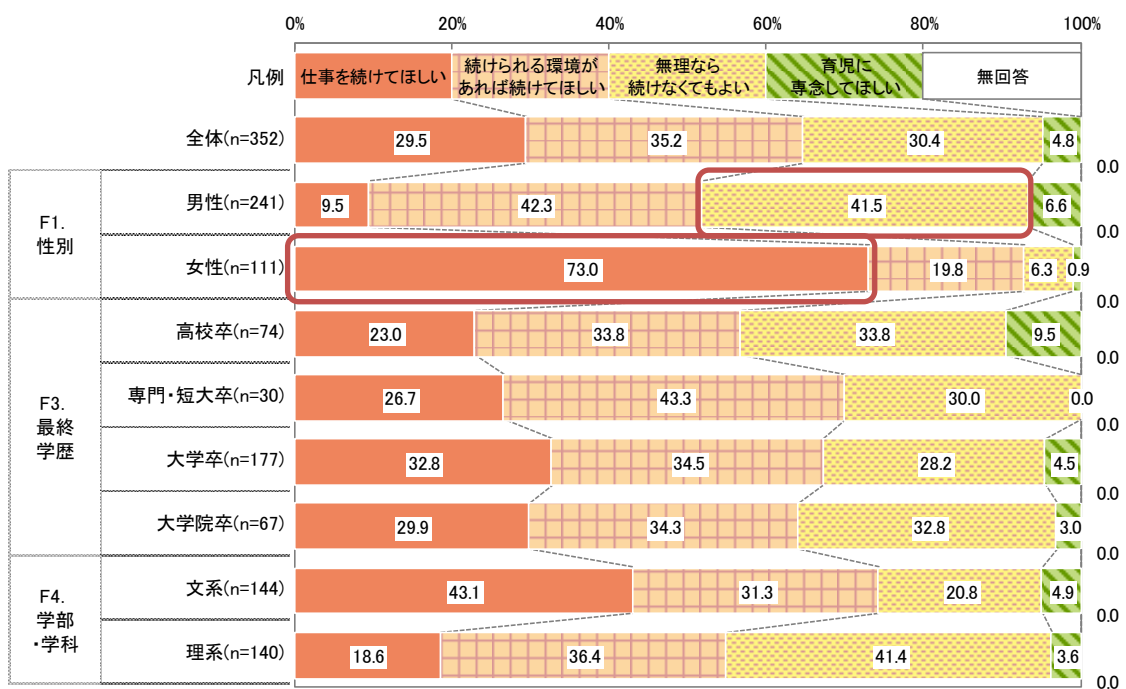


### (15) 将来の育児と仕事についての考え【配偶者】

将来の育児と仕事について、配偶者については、「仕事を続けてほしい」が29.5%、「続けられる環境があれば続けてほしい」が35.2%となり、6割強が「仕事を続けたい」と回答している。

属性別にみると、性別の『女性』では「仕事を続けてほしい」が73.0%であるのに対し、『男性』では9.5%と女性に比べて非常に低くなっている。逆に『男性』では「無理なら続けなくてもよい」は4割程度と、『女性』に比べて高い。

問17(2). 将来の育児と仕事についての考え: 配偶者(妻・夫)について  
(1つだけ選択)(n=352)

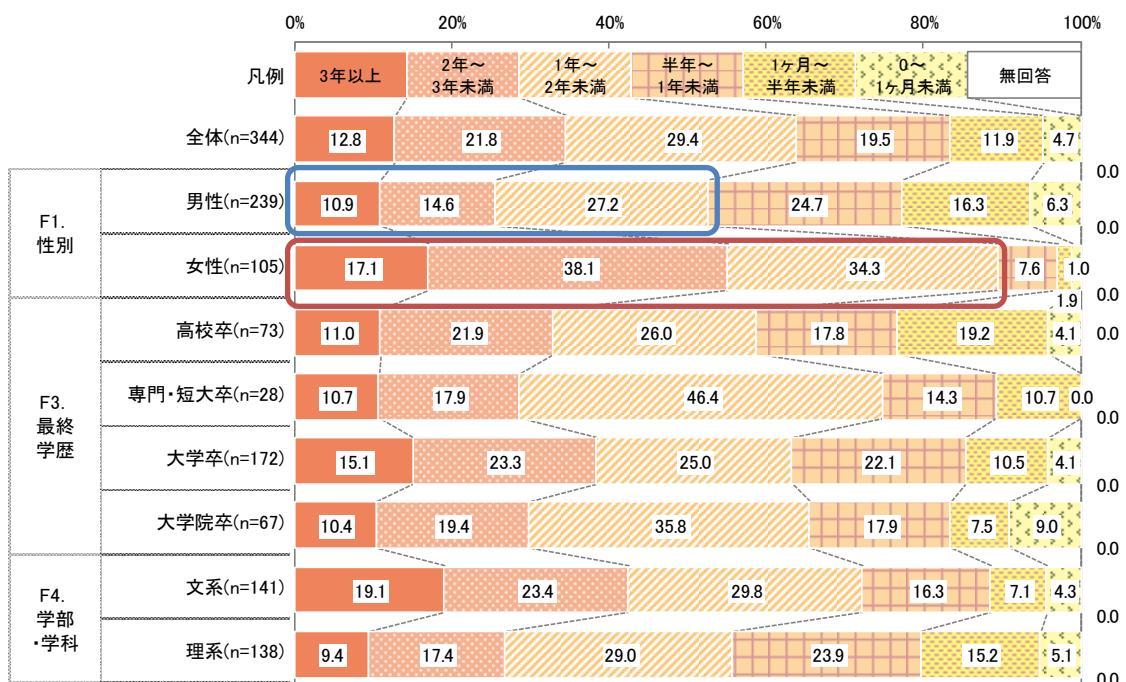


(16) 取得したい育児休業期間

全体では、「3年以上」が12.8%、「2年～3年未満」が21.8%、「1年～2年未満」が29.4%となり、1年以上が6割超となっている。

属性別でみると、『女性』では「3年以上」が17.1%、「2年～3年未満」が38.1%、「1年～2年未満」が34.3%となり、「1年以上」が約9割、「2年以上」も半数を超えている。一方、『男性』では「3年以上」が10.9%、「2年～3年未満」が14.6%、「1年～2年未満」が27.2%と、「1年以上」は5割超に留まっている。

問18. あなたは育児休業をどのくらいの期間とりたいと思いますか。(1つだけ選択)(n=344)

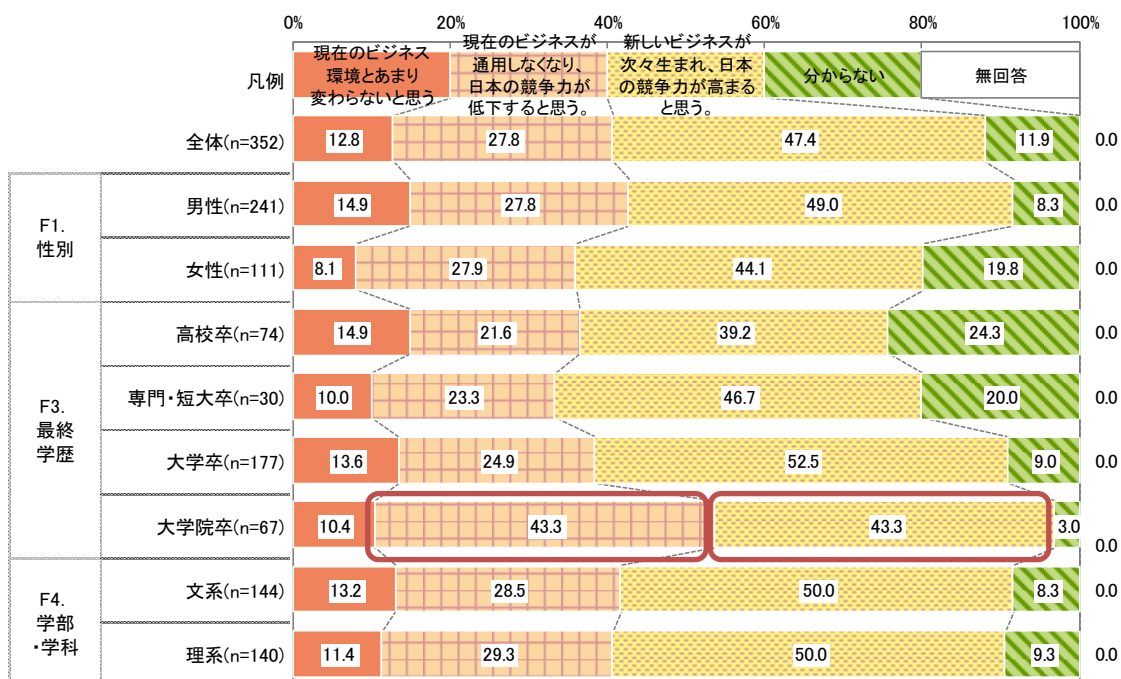


### (17) 5年後の日本のビジネス環境

全体では、「新しいビジネスが次々生まれ、日本の競争力が高まると思う。」(47.4%)が最も高く、「現在のビジネスが通用しなくなり、日本の競争力が低下すると思う。」(27.8%)、「現在のビジネス環境とあまり変わらないと思う」(12.8%)と続く。

属性別にみると、最終学歴の『大学院卒』において、『現在のビジネスが通用しなくなり、日本の競争力が低下すると思う。』が43.3%となり、「新しいビジネスが次々生まれ、日本の競争力が高まると思う。」と同率で第1位にあげられている。

問19. 近年、人工知能(AI)・ロボット技術の発展により「デジタル革命」時代が到来したと言われていています。こうした中、5年後の日本のビジネス環境はどうなると思いますか。(1つだけ選択)(n=352)



(18) 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何か。

全体では、「新」(28人)「挑」(24人)「努」(12人)が上位にあげられている。

属性別でみると、『男性』では「楽」が、『女性』では「変」が同数で第3位に挙げられている。

問 20. 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。

漢字1文字ご記入ください。

※ 3人以上から回答があったものを抜粋

	男性	女性	全体
合計	171	82	253
新	14	14	28
挑	16	8	24
努	8	4	12
楽	8	1	9
変	4	4	8
改	7	0	7
気	4	3	7
進	5	2	7
頑	5	0	5
戦	4	0	4
迷	4	0	4
学	1	2	3
希	3	0	3
恐	1	2	3
魂	3	0	3
初	2	1	3
心	3	0	3
勢	2	1	3
無	0	3	3
惑	2	1	3

1位
2位
3位



F6. あなたの勤務先の業種をお答えください。(1つだけ選択)

- |               |              |                        |
|---------------|--------------|------------------------|
| 1. 農林水産業      | 7. 商社・卸売業    | 13. 教育・学習支援            |
| 2. 建設業        | 8. 小売業       | 14. 広告・マスコミ            |
| 3. 製造業        | 9. 金融・保険業・証券 | 15. 官公庁・団体             |
| 4. 電気・ガス・水道供給 | 10. 不動産業     | 16. サービス業              |
| 5. 情報通信業      | 11. 飲食・宿泊業   | 17. その他 (            ) |
| 6. 運輸業        | 12. 医療・福祉    |                        |

7. あなたの勤務先の従業員数(会社全体)をお答えください。(1つだけ選択)

※パート・アルバイトは除きます。

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 1万人以上           | 5. 300人～500人未満 |
| 2. 3,000人～1万人未満    | 6. 100人～300人未満 |
| 3. 1,000人～3,000人未満 | 7. 100人未満      |
| 4. 500人～1,000人未満   | 8. わからない       |

**就職活動から入社するまでの意識について伺います。**

Q1. あなたはどのような気持ちで就職活動に臨みましたか。(1つだけ選択) ”

1. 気に入った会社に就職できなければ、就職しない覚悟で臨んだ。
2. 気に入った仕事に就けなければ、就職しない覚悟で臨んだ。
3. 気に入った会社や仕事に就けるかどうかよりも、就職することを最優先に考えた。
4. できれば就職したくなかった。

Q2. あなたは、入社した会社に満足していますか。(1つだけ選択)

- |               |               |              |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 大変満足       | 3. どちらかといえば不満 | 5. どちらともいえない |
| 2. どちらかといえば満足 | 4. 大変不満       |              |

Q3. あなたが就職先として今の会社を選ぶ決め手になったことは何ですか。

(3つまで選択)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 会社の知名度が高いこと      | 9. 研修制度が充実していること       |
| 2. 家族に勧められたこと       | 10. 転勤がないこと            |
| 3. 学校の教員や先輩に勧められたこと | 11. 海外で仕事ができること        |
| 4. 経営が安定していること      | 12. 通勤しやすい場所にあること      |
| 5. 給料が高いこと          | 13. 都会で働けること           |
| 6. 残業が少ないこと         | 14. 経営者の考え方に共感したこと     |
| 7. 希望の仕事であること       | 15. その他 (            ) |
| 8. 会社の将来性を感じたこと     |                        |



あなた自身の仕事・働くことへのお考えを伺います。

Q4. あなたの仕事・働き方に対する考えは、AとBのどちらに近いですか。

(各項目1つだけ選択)

- |     |  |
|-----|--|
| 4-1 | A) 一つの部門の仕事を長く続けて専門性を磨きたい<br>B) いろいろな部門を経験し仕事の幅を広げたい |
| 4-2 | A) 定年まで一つの会社に勤めたい<br>B) 機会があれば転職・独立したい               |
| 4-3 | A) 能力以上にながむしゃらに働く<br>B) 能力の範囲内でほどほどに働く               |
| 4-4 | A) プライベートを優先したい<br>B) 仕事を優先したい                       |

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. A          | 3. どちらかというともB |
| 2. どちらかというともA | 4. B          |

Q5. あなたはAとBのどちらの職場で働きたいですか。(各項目1つだけ選択)

- |     |  |
|-----|--|
| 5-1 | A) 個人が評価され、年齢・経験に関係なく処遇される実力・成果主義の職場<br>B) 競争よりも、ある年代まで平等に処遇される年功主義の職場 |
| 5-2 | A) チームワークを重視する職場<br>B) 個人の裁量に任せられる職場                                   |
| 5-3 | A) 仕事以外のことも相談できる温かな職場<br>B) 個人的なことには関心をもたないサバサバした職場                    |
| 5-4 | A) 働いた仕事の「量」で評価される職場<br>B) 働いた仕事の「質」で評価される職場                           |

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. A          | 3. どちらかというともB |
| 2. どちらかというともA | 4. B          |

Q6. あなた自身の働く目的は何ですか。生活費を得ること以外でお答えください。

(3つまで選択)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 仕事を通じてやりがいや充実感を得ること | 6. 趣味やレジャーの費用を捻出すること |
| 2. 社会の役に立つこと           | 7. お客様の役に立つこと        |
| 3. 周囲に認められ、地位を得ること     | 8. 会社や上司の役に立つこと      |
| 4. 自分の能力を高めること         | 9. 親を安心させるため         |
| 5. いろいろな人に出会うこと        | 10. その他 ( )          |

Q7. あなたは、働いている会社が社会の役に立っているかどうか、どの程度重要とご思いますか。(1つだけ選択)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. とても重要だと思う   | 4. まったく重要とは思わない |
| 2. やや重要だと思う    | 5. わからない        |
| 3. あまり重要とは思わない |                 |

Q8. これから仕事をしていく上で、どのようなことに不安がありますか。(3つまで選択)

1. 上司・同僚との人間関係
2. 仕事に対する自分の能力・スキル
3. ビジネスマナーや常識
4. 学生時代の専門分野を仕事に活かせるかどうか
5. 残業時間の量
6. 会社の雰囲気になじめるかどうか
7. 転勤や人事異動
8. 基本的な仕事の進め方
9. 人脈を築けるかどうか
10. 生活リズムの変化についていけるかどうか
11. その他 ( )

Q9. これから仕事をしていく上で、強化したいと思う能力・スキルは何ですか。

(3つまで選択)

- |                  |               |             |
|------------------|---------------|-------------|
| 1. 語学力           | 6. コミュニケーション力 | 12. 傾聴力     |
| 2. ITスキル         | 7. 交渉力        | 13. ストレス耐性  |
| 3. ビジネスマナー       | 8. リーダーシップ    | 14. 論理的思考力  |
| 4. 業務上必要な専門知識・技術 | 9. 協調性        | 15. その他 ( ) |
| 5. 企画力           | 10. チャレンジ精神   |             |
|                  | 11. 主体性       |             |

Q10. あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。(3つまで選択)

1. 仕事について丁寧な指導をする上司・先輩
2. 部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩
3. 部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩
4. 仕事を任せて見守る上司・先輩
5. 仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩
6. 言動が一致している上司・先輩
7. 仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩
8. リスクを恐れずチャレンジする上司・先輩
9. 仕事で成果を上げ、上司から信頼されている上司・先輩
10. 場合によっては叱ってくれる上司・先輩
11. プライベートな相談にも応じてくれる上司・先輩
12. 仕事だけでなく、プライベートも大事にする上司・先輩
13. その他 ( )

Q11. あなたがこれから働くにあたって、やりたいこと・やりたくないことは何ですか。(各項目1つだけ選択)

11-1. 国内転勤	11-5. 接待
11-2. 海外転勤	11-6. 社内イベント(運動会など)への参加
11-3. 残業	11-7. 本来業務でない雑用
11-4. 休日出勤	11-8. 上司を交えた飲み会への参加

1. やりたい
2. どちらかというonyりたい
3. どちらかというonyりたくない
4. やりたくない

【Q11-2. 海外転勤を「やりたい」「どちらかといえばやりたい」と回答した方】

Q12. あなたは、いつ頃海外赴任したいですか。(1つだけ選択)

1. なるべく早い時期に海外赴任したい
2. ある程度経験を積んでから海外赴任したい
3. 管理職になってから海外赴任したい
4. 分からない

あなた自身のキャリア形成や将来について伺います。

Q13. あなたは現時点において、将来のキャリアのイメージを描いていますか。

(1つだけ選択)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 明確に描いている  | 4. あまり描いていない  |
| 2. だいたい描いている | 5. まったく描いていない |
| 3. どちらともいえない |               |

Q14. あなたは将来どのような職種・役職につきたいと思いますか。(1つだけ選択)

1. 社長になりたいと思う
2. 役員になりたいと思う
3. 部長・課長など管理職になりたいと思う
4. 専門職として頑張りたいと思う
5. 製造、接客、営業など現場のプレーヤーとして頑張りたいと思う
6. 将来は別の仕事をしたい
7. 独立して起業したい
8. 将来は仕事をやめたい
9. 分からない

【Q14. 将来つきたい職種・役職で「社長」「役員」「部長・課長など管理職」と回答した方】

Q15. 経営者・管理職になりたい理由は何ですか。(いくつでも選択) ”

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. いろいろな経験をしたいため | 5. 高い給料がほしいから        |
| 2. 自分に向いていると思うから | 6. 管理職としてやりたいことがあるから |
| 3. 責任ある仕事をしたいから  | 7. 管理職になるのは当たり前だから   |
| 4. 社会的地位がほしいから   | 8. その他 ( )           |

【Q14. 将来つきたい職種・役職で「専門職」「現場のプレーヤー」「別の仕事」「起業したい」と回答した方】

Q16. 経営者・管理職になりたくない理由は何ですか。(いくつでも選択) ”

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| 1. 自分のやりたい職種・仕事があるから |            |
| 2. 自分に向いていないと思うから    |            |
| 3. 責任を持ちたくないから       |            |
| 4. 残業時間が増えそうだから      |            |
| 5. 出世に興味がないから        |            |
| 6. 子育て・介護との両立が難しいから  |            |
| 7. 上司・部下など人間関係が面倒だから | 8. その他 ( ) |

Q17. あなたは将来の育児と仕事について、どのように考えていますか。自身と配偶者（妻・夫）についてそれぞれお答えください。（それぞれ1つだけ選択）”

17-1. 自分自身について

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 仕事を続けたい         | 3. 無理なら続けなくてもよい |
| 2. 続けられる環境があれば続けたい | 4. 育児に専念したい     |

17-2. 配偶者（妻・夫）について

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 仕事を続けてほしい         | 3. 無理なら続けなくてもよい |
| 2. 続けられる環境があれば続けてほしい | 4. 育児に専念してほしい   |

Q18. あなたは育児休業をどのくらいの期間とりたいと思いますか。（1つだけ選択）

※希望の時期に保育所などに預けられることを前提とします。

※あなたの会社の就業規則とは別にあなた自身の希望をお答えください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 3年以上    | 4. 半年～1年未満  |
| 2. 2年～3年未満 | 5. 1ヶ月～半年未満 |
| 3. 1年～2年未満 | 6. 0～1ヶ月未満  |

Q19. 近年、人工知能（AI）・ロボット技術の発展により「デジタル革命」時代が到来したと言われています。こうした中、5年後の日本のビジネス環境はどのようになると思いますか。（1つだけ選択）”

1. 現在のビジネス環境とあまり変わらないと思う
2. 現在のビジネスが通用しなくなり、日本の競争力が低下すると思う。
3. 新しいビジネスが次々生まれ、日本の競争力が高まると思う。
4. 分からない

Q20. 新社会人としてスタートする今の気持ちを漢字1文字で表すとしたら何ですか。漢字1文字ご記入ください。

Q21. 日本能率協会の新入社員研修の受講地をお聞かせください。

1. 東京
2. 名古屋
3. 大阪